

文化財年報44 令和4年度



令和5年9月
仙台市教育委員会

目 次

目 次
例 言
序 文

I. 文化財の保護管理	1
II. 文化財の普及啓発	7
III. 埋蔵文化財の調査	16
IV. 文化財の調査	23
V. 指定文化財及び登録文化財一覧	39
VI. 仙台市文化財調査報告書刊行目録	48

職員録

例 言

- 1 本書は仙台市教育委員会生涯学習部文化財課が、令和4年度に実施した文化財の保護・管理・普及啓発ならびに埋蔵文化財調査の各事業に係る年度報告書である。
- 2 本書に掲載した地形図は、国土交通省国土地理院発行5万分の1「仙台」等を使用し、5万分の1以外の縮尺となる場合は縮尺を記した。
- 3 本書の編集は仙台市教育委員会生涯学習部文化財課が行った。

表紙：旧歩兵第四連隊兵舎。仙台市政88年を記念して実施された公園拡張時に曳家移築・復元され、昭和54(1979)年から仙台市歴史民俗資料館として活用されている。県内に現存する擬洋風建築の最古の例であり、全国的に見ても明治前期の兵舎の現存例は少ないこと、整備改修も必要最低限にとどまり、文化財的価値が高いことから、令和5年3月県指定有形文化財(建造物)に指定された。

序 文

新型コロナウイルス禍の完全なる終息が見通せない状況にありながらも、令和4年度は感染症予防のためのさまざまな工夫を凝らしながら社会・経済活動の再開が徐々に始まり、文化財の保存・活用に向けた取り組みを再び加速させていくことが求められる年となりました。

こうした中、国の史跡指定から100年の節目となる令和4年、陸奥国分寺跡において「全国国分寺サミット2022 in 仙台・陸奥国分寺」が開催され、全国から関係者が集い、国分寺建立に込められた天災や疫病の鎮静への願いや、歴史とともに紡いできた文化財の価値を全国に発信いたしました。

また、「仙台城跡調査・整備委員会」が開催され、令和4年3月の地震により崩落した石垣の復旧工事を含めた仙台城跡整備事業の着実な推進がなされました。さらに郡山遺跡整備事業では、保存活用計画の策定及び整備を目的とした範囲確認調査を実施いたしました。

指定登録関係では、「陸奥国分寺鍾楼堂」が市の指定有形文化財に、市の指定有形文化財だった「旧歩兵第四連隊兵舎」が県の指定有形文化財に指定されました。催し物では、初めての開催となった「せんだい伝統文化フェア in 大倉」や恒例の「文化財展」等を、感染症対策を講じたうえで実施し、市民の皆様から好評をいただきました。

このほかにも発掘調査や普及啓発、文化財への補助・助成、「富沢遺跡保存館」ほか所管施設の管理運営などの多種多様な事業についても、確実に取り組んでまいりました。

なお、本書後段には「指定文化財及び登録文化財一覧」や「調査報告書目録」も掲載しておりますので、ご高覧ください。

これからも、文化財の保存・活用等を行ってまいりますので、皆様のご理解・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和5年9月

仙台市教育委員会
教育長 福田 洋之

I. 文化財の保護管理

1. 文化財の指定

令和4年度は、次のとおり指定を行った。

○指定有形文化財（建造物）「陸奥国分寺鐘楼堂」：令和5年3月29日（告示）

室町時代後期に建築され、江戸時代初期の伊達政宗による大規模な修理を受けて引き継がれた袴腰付き鐘楼である。仙台市内現存最古の木造建造物として貴重であり、陸奥国分寺の中世からの歴史を伝える重要な建造物と評価できる。

また、以下の文化財の指定・登録が解除・抹消となった。

○指定有形文化財（建造物）「旧歩兵第四連隊兵舎」：令和5年3月24日（告示）

○登録有形文化財（建造物）「陸奥国分寺鐘楼」：令和5年3月29日（告示）

なお、仙台市所有の「旧歩兵第四連隊兵舎」が県指定有形文化財に指定された。



陸奥国分寺鐘楼堂

2. 文化財の調査

令和3年度に更新した「文化財指定・登録計画」に掲載されている木造聖観音菩薩立像（仙岳院、阿弥陀寺所蔵）2躯と、陸奥国分寺准胝観音堂1棟について、文化財の価値を評価するための調査を行った（詳細は本書IV参照）。

3. 文化財保護審議会

仙台市文化財保護審議会は、文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議を行い、教育委員会に建議することを所掌事務とする。令和4年度は下記のとおり3回開催した。

日程	主な議題等
第1回（7／14）	(1) 令和3年度文化財課主要事業の実績について (2) 令和4年度文化財課主要事業の予算について (3) 令和4年3月16日の福島県沖を震源とする地震によって発生した文化財の被害状況について
第2回（11／30）	(1) 市指定有形文化財（建造物）の指定について（諮問） (2) 普及活動報告の報告について
第3回（3／20）	(1) 市指定有形文化財（建造物）の指定について（答申） (2) 文化財保護条例の一部改正について (3) 宮城県指定有形文化財（建造物）の指定について

4. 補助事業

(1) 有形文化財補助

指定文化財の保存管理のため、次の事業に対して補助を行った。

〔防災設備保守点検〕

大崎八幡宮管理事業，東照宮管理事業，陸奥国分寺薬師堂管理事業，東北学院旧宣教師館管理事業，諏訪神社本殿管理事業，賀茂神社本殿管理事業，落合観音堂管理事業，宇那禰神社本殿管理事業，愛宕神社本殿・拝殿管理事業，大満寺虚空蔵堂管理事業，臨濟院地内弁財天堂管理事業

〔保存修理〕陸奥国分寺薬師堂保存修理事業

〔防災設備整備〕大満寺虚空蔵堂防災設備整備事業

(2) 無形文化財補助

国指定重要無形文化財「精好仙台平」の無形文化財技術保持事業に対して補助を実施した。

(3) 無形民俗文化財補助

次の民俗芸能の保護団体（14団体）が実施した無形民俗文化財保持事業に対して補助を実施した。

湯元田植踊保存会，長袋の田植踊保存会，馬場の田植踊保存会，大崎八幡宮能神楽保存会，下倉の田植踊保存会，川前の鹿踊・剣舞保存会，滝原の顕拝保存会，上谷刈の鹿踊・剣舞保存会，福岡の鹿踊・剣舞保存会，大沢田植踊保存会，馬場愛宕神社神楽保存会，榊流青麻神楽保存会，生出森八幡神楽保存会，仙台消防階子乗り保存会

5. 文化財の管理

(1) 史跡等の維持管理

遠見塚古墳，三沢初子の墓，松森焰硝蔵跡，陸奥国分寺跡，陸奥国分尼寺跡，仙台郡山官衙遺跡群，仙台城跡について，定期的に除草清掃を行った。

(2) 有形文化財及び記念物の現状変更等

有形文化財及び記念物について，以下の通り現状変更等の手続きが行われた。

①有形文化財

区分	種別	名称	内容	件数	備考（カッコ内は件数）
国指定	建	大崎八幡宮	修理届	3	漆塗り直し(2)、屋根修理
国指定			き損届	2	令和4年3月福島県沖地震（1）、屋根漏水（1）
国指定	建	大崎八幡宮長床	修理届	1	屋根修理
国指定	建	陸奥国分寺薬師堂	き損届	1	令和4年3月福島県沖地震
国指定	美工	陸前沼津貝塚出土品	き損届	1	令和4年3月福島県沖地震
国指定	美工	埴輪甲・埴輪家残闕・埴輪円筒	き損届	2	令和4年3月福島県沖地震
国指定	美工	伊達家文書（千四十六通）	所在場所変更届	2	展示のため
県指定	美工	仙台北城下絵図	き損届	1	仙台北城下繪圖
県指定	美工	仙台北城絵図	き損届	1	仙台北城二の丸御座敷繪圖
県指定			修理届	1	
県指定	美工	清海曼陀羅図	公開許可申請	1	
県指定	美工	木造菩薩立像	公開許可申請	1	
県指定	美工	蝦夷地関係絵図	公開許可申請	1	「白老陣屋秣場地所繪圖」ほか（10）
市指定	建	旧姉齒家茶室（残月亭）	所在場所変更届	1	移設
			現状変更許可申請	1	移築

I. 文化財の保護管理

区分	種別	名称	内容	件数	備考（カッコ内は件数）
市指定	建	旧熊谷家住宅	修理届	1	令和4年3月福島県沖地震被害に対する壁修理
市指定	美工	朱鍍漆六枚胴具足 三宝荒神形兜付（伝上杉謙信所用）	き損届	1	令和4年3月福島県沖地震
			修理届	1	令和4年3月福島県沖地震被害に対する修理
市指定	美工	押口遺跡出土遺物	所在場所変更届	1	
市指定	美工	中在家南遺跡出土遺物	所在場所変更届	1	
市指定	美工	伊達治家記録（仙台市博物館本）	所在場所変更届	2	調査（1）、展示（1）
市指定	美工	仙台城旧本丸及び二ノ丸御殿障壁画	所在場所変更届	1	紙本着色葵図。展示のため
			修理届	1	紙本着色葵図。
市指定	美工	服飾類 伊達政宗所用	所在場所変更届	1	紫羅背板地五色水玉模様陣羽織。展示のため
			修理届	1	紫羅背板地五色水玉模様陣羽織。
市指定	美工	紙本着色伊達政宗画像（狩野探幽筆）	所在場所変更届	1	展示のため
市指定	美工	菊絵和歌屏風	所在場所変更届	1	展示のため
市指定	美工	仙台藩歴代藩主及夫人肖像画	所在場所変更届	1	伊達政宗画像。展示のため
市指定	美工	銅板油彩悲しみのマリア像	所在場所変更届	1	展示のため
市指定	美工	茶杓 仙台藩歴代藩主作	所在場所変更届	1	伊達政宗作。展示のため
市指定	美工	仙台城旧本丸御殿金具	所在場所変更届	1	展示のため
市指定	美工	黒漆五枚胴具足（伊達政宗所用・菅野正左衛門重成拝領）	所在場所変更届	1	展示のため
市指定	美工	伊達政宗墓所出土品	所在場所変更届	1	展示のため
市指定	美工	仙台城及び江戸上屋敷主要建物姿絵図	所在場所変更届	1	展示のため
市指定	美工	伊達政宗和歌詠草「入そめて」	所在場所変更届	1	展示のため
市指定	美工	旧大橋の擬宝珠	所在場所変更届	1	展示のため
市指定	美工	伊古田遺跡出土土偶	所在場所変更届	1	展示のため
市登録	建	陸奥国分寺准胝観音堂	き損届	1	経年による塗装劣化

②記念物

区分	種別	名称	内容	件数	備考
国指定	史	陸奥国分寺跡	現状変更許可申請	3	工作物設置(2)、建築物解体撤去(1)
国指定	史/名	陸奥国分寺跡／おくのほそ道の風景地（木の下及び薬師堂）	現状変更	14	工作物設置(10)、範囲確認調査(1)、木竹伐採(1)、水管等設置(2)
国指定	史/天	仙台城跡/青葉山	き損届	5	福島県沖地震による被災(3)、大雨による倒木(1)、台風による倒木(1)
			現状変更	32	不正伐採回収・保護(1)、樹木移植(2)、柵等設置・回収(6)、枯損木・危険木伐採(4)、地盤調査(3)、建造物除去(1)、殺菌剤注入(1)、護岸復旧(1)、石垣復旧(2)、植生修景(1)、電柱設置(1)、土嚢撤去(1)、胸像等移設(1)、ライブカメラ設置(1)、事務所等仮設(6)
国指定	史	仙台郡山官衙遺跡群 郡山官衙遺跡 郡山廃寺跡	現状変更	4	工作物設置(2)、深さ確認調査(1)、水管等設置(1)
国指定	名	秋保大滝	現状変更	3	電柱改修及び枝払い(1)、支障木伐採(1)、誘導標識再設置(1)
国指定	名	おくのほそ道の風景地（つゝじが岡及び天神の御社）	現状変更	8	工作物設置(5)、施設設置(1)、木竹伐採(1)、建物増築(1)
国指定	特天	カモシカ	減失届	8	8頭
国指定	天	朝鮮ウメ	現状変更	1	年間管理(1)
国指定	天	イヌワシ	現状変更	1	動物園間貸出(1)
県指定	天	賀茂神社のイロハモミジ	現状変更	1	枯れ枝除去
市指定	天	泉ヶ岳のミズバショウほか湿生植物群生地	現状変更	1	下草刈り(1)
市指定	史	経ヶ峰伊達家墓所	現状変更	3	石垣修復(1)、石灯籠復旧ほか(2)

建：建造物 美工：美術工芸品 史：史跡 名：名勝 天：天然記念物 特天：特別天然記念物 民俗：民俗文化財

(3) 文化財防火デー

第69回文化財防火デーに際し、令和5年1月26日を中心に、仙台市消防局と連携し、管轄消防署による指定建造物の特別査察や、地域住民の協力を得ながら防災訓練等を実施した。



第69回文化財防火デーの様子（大崎八幡宮）

6. 指定管理者制度

仙台市歴史民俗資料館及び仙台市先史遺跡保存活用施設（仙台市富沢遺跡保存館・仙台市縄文の森広場）の管理運営について、指定管理者制度により公益財団法人仙台市市民文化事業団に委託している。令和4年度は、3施設ともに新型コロナウイルス感染症対策を講じながら運営する状況ではあったが、感染症拡大に伴う臨時休館はなかった。3施設では、令和4年3月地震の影響による災害復旧工事を実施した。歴史民俗資料館については、漆喰壁等の補修工事に伴い、5月31日（火）から6月3日（金）までを臨時休館とした。7月には、富沢遺跡保存館の入館者数が100万人を超えた。

(1) 歴史民俗資料館

歴史民俗資料館は、榴岡公園内に存した旧陸軍第二師団歩兵第四連隊兵舎の一棟を昭和52年に同公園東側に移築・復元保存し、昭和54年11月3日に開館した。木造二階建寄棟造瓦葺で、漆喰塗りの壁や、建物の角隅のコーナーストーンの装飾・洋風円柱のポーチなどを備えた洗練された建物である。宮城県現存最古の洋風木造建築として仙台市の有形文化財に指定されていたが、令和5年3月に県指定有形文化財に指定された。

同資料館では、建物の維持管理とともに、江戸時代から現代の歴史・民俗資料の収集・整理・保管・展示や調査研究、普及啓発事業を行っており、収蔵資料点数は9万7千点を超える。常設展示は「仙台町場のくらし」、「仙台地方の農具と農家のくらし」、「旧歩兵第四連隊コーナー」、「体験学習室」などで構成される。

令和4年度は、特別展「仙台の夏のくらし・秋のくらし」をはじめ、企画展「教科書でたどる仙台の教育文化～江戸・明治から現代～」や「人力車から地下鉄へ～新しい時代の乗り物～」を開催し、その展示解説や関連イベント、その他3回の季節展示も実施して、計15,198人の来館者があった。この他、「足元からみる民俗」の継続調査をはじめとした調査研究報告や特別展図録、資料集などの刊行物の発行、クイズラリー、れきみん講座などのイベント、体験学習、講師派遣、職場体験、学校連携事業などを実施し、市民の生涯学習活動への支援を行った。

(2) 富沢遺跡保存館（地底の森ミュージアム）

富沢遺跡保存館は、学校建設に伴う発掘調査で発見された2万年前の旧石器時代の活動痕跡と森林跡をそのままの状態で保存活用を図るテーマミュージアムとして、平成8年11月2日に開館し、公募で決定した愛称「地底の森ミュージアム」で広く市民に親しまれている。

野外展示「氷河期の森」は同調査時により判明した当時の植生を復元したもので、市民の憩いの場となっている。およそ100種の植物が植栽され、その生態調査等を行いながら、来館者への植物解説も行っている。屋内には900㎡の楕円形の大空間に広がる本物の遺構等が見られる地下展示室と遺跡の調査成果を謎解き

形式により楽しめる1階展示室を常設する。

令和4年度は、企画展として「仙台の遺跡めぐり 富沢からのぞく仙台の歴史」「ガラスにまつわるエトセトラ」のほか、特別企画展から規模を縮小した企画展「遺跡のミ・カ・タ」を開催し、計31,419人の来館者があった。普及啓発活動では、「地底の森フェスタ」「おいでよ地底の森」などを開催し、演劇という手段で旧石器時代の特徴を紹介する「ミュージアム・シアター“狩人登場！”」や「親子でつくろう古代米」といった体験活動などを実施した。また、考古学講座や富沢ゼミなどの講演会はオンラインを併用して開催したほか、小・中学校の授業や地域連携の一環として、施設を利用した体験学習や職場体験などで学習機会を提供している。さらに、考古学に対する市民の学習活動支援及び大学との連携として、ボランティア・学生サポーター・市民文化財研究員の養成を続けている。

(3) 縄文の森広場

縄文の森広場は、宅地造成に伴う山田上ノ台遺跡の発掘調査で発見された縄文時代中期末を主とする竪穴住居跡などの遺構の保存活用を図る体験型学習施設として、富沢遺跡保存館の分館として平成18年7月15日に開館した。野外には、復元した竪穴住居や集落を再現した縄文ムラゾーンと未調査区でイベントや発掘体験等を行う広場ゾーンがある。その北側の一角に付設しているガイダンス施設のエントランスホールでは、施設概要と当館の完成に至る軌跡の映像や壁面パネル展示が見られ、ガイダンス展示室では出土資料や模型、パネル・映像などにより縄文時代の生活の様子が学べる。

コーナー展示として、令和4年度は「東北の縄文遺跡」を年間テーマとして「東北の縄文遺跡－3Dでみる下ノ内浦遺跡の縄文土器－」、「東北の縄文遺跡－大野田遺跡の土偶たち－」、「東北の縄文遺跡－伊古田遺跡の土偶とその世界－」を開催した。

普及啓発事業としては、縄文時代を題材とした親子で楽しめる様々な学習、体験活動、発掘体験などを実施したほか、縄文まつり（春まつり、秋まつり、コンサート）、縄文の森講座（オンライン併用）といった行事を開催し、計16,618人の来場者があった。随時体験学習は昨年度に引き続き事前予約制で実施し、小・中学校には利用学習や職場体験などで学習機会を提供している。ボランティア活動は、引き続き館活動の準備作業の補助を行ったほか、育成講座や自主研修などを通してスキルアップを図った。

7. 史跡の整備

(1) 史跡仙台城跡

令和3年3月に策定した仙台城跡整備基本計画に基づき、植生修景方針の策定と東丸（三の丸）土塁及び本丸北壁石垣周辺の植生修景の実施、それに伴う仙台城跡調査・整備委員会を3回実施した。また、大手門復元関連基礎調査として、大手門脇櫓石垣の計測図化と史資料調査を実施した。なお、令和4年度に行われた整備工事はない。

(2) 史跡仙台郡山官衙遺跡群、史跡陸奥国分寺・国分尼寺跡

郡山遺跡・陸奥国分寺跡等調査指導委員会を3回実施した（6月1日、9月29日、1月26日）。委員会では、令和4年度中に実施した陸奥国分寺跡調査および郡山遺跡調査の報告を行なったほか、令和5年度策定予定の「史跡仙台郡山官衙遺跡群保存活用計画」素案について、委員の方々から指導・助言をいただいた。なお、令和4年度に行われた整備工事はない。

8. 史跡の公有化

(1) 史跡仙台郡山官衙遺跡群 郡山官衙遺跡 郡山廃寺跡

史跡仙台郡山官衙遺跡群は、1,174.95㎡（実測値。公簿値は、1,087.59㎡。）について基金からの引取を行い公有化した。指定地内の公有化を要する範囲のうち、28,644.15㎡が公有化された。

(2) 史跡陸奥国分寺跡

史跡陸奥国分寺跡は、127.88㎡（実測値。公簿値は、124.69㎡。）について買上げを行い公有化した。指定地内の公有化を要する範囲のうち、66,967.705㎡が公有化された。

II. 文化財の普及啓発

市民の文化財に対する理解と認識を深め、文化財保護思想の啓発を図るため、下記の事業を実施した。

1. 説明板・標柱の設置

令和4年度の新設・更新・撤去事業はなかった。

2. 文化財パンフレット等の発行

- ・「文化財せんだい」 第133号, 第134号, 第135号 各10,200部
- ・文化財パンフレット 第80集「国史跡 陸奥国分寺跡」
- ・文化財パンフレット 第63集「郡山遺跡」改訂版
- ・文化財DVD「文化財この一年 2022」

3. 文化財サポーター養成講座

文化財の普及啓発のために様々な活動のできる人材を育成する「文化財サポーター養成講座」を全7回実施し、10名が参加した。平成20年度から始めた本講座は、今年度で15期目となる。平成22年に、本講座の受講生を中心に設立された仙台・文化財サポーター会の会員には、例年であれば文化財展や市民センターまつりなどのイベントで協力を頂いているが、新型コロナウイルス感染症の影響により活動自粛となった。

実施日	講座内容	講師
9月3日(土)	開講式・「向田文化財整理収蔵室の見学」	文化財課職員
9月18日(日)	「大崎八幡宮 民俗芸能大会・四ツ谷用水の見学」	文化財課職員
10月29日(土)	「ぶらり仙台北町めぐり」	郷土史家 木村浩二氏
11月12日(土)	「仙台北跡登城路の散策」	文化財課職員
11月26日(土)	「史跡指定100年 史跡陸奥国分寺をめぐる」	文化財課職員
12月10日(土)	「発掘された遺物の行方 整理作業体験」	文化財課職員
12月17日(土)	「2万年前の仙台 地底の森ミュージアム見学」・閉講式	地底の森ミュージアム学芸員

4. 文化財公開の日 「東北大学片平キャンパスをめぐる」

地域の歴史と文化財に対する市民の理解を深め、文化財愛護精神の普及啓発を図るため、平成9年から毎年実施している。令和4年度は、「東北大学片平キャンパスをめぐる」と題して11月3日(木)に開催し、28名の参加を得た。

今回は、同キャンパス内にある片平まなびの館(旧東北帝国大学理学部生物学教室)や魯迅の階段教室(旧仙台医



魯迅の階段教室での見学風景

学専門学校六号教室) など, 令和3年度に新たに国の登録有形文化財となった明治時代～昭和初期の歴史的建造物を見学した。多元物質科学研究所南1号館(旧東北帝国大学工学部機械学及び電気学教室)では, 普段は入れない内部での見学も行い, それぞれの場所で大学教員の方々から詳しく解説いただいた。

5. 『第35回民俗芸能のつどい』

- 開催期日 令和5年2月11日(土・祝)
- 会場 日立システムズホール仙台シアターホール
- 来場者数 約450人
- 出演
 - ・七郷神社丹波神楽(仙台市若林区)
 - ・川前鹿踊・川前剣舞(仙台市青葉区)
 - ・大崎八幡宮の能神楽(仙台市青葉区)
 - ・秋保の田植踊(馬場の田植踊)(仙台市太白区)
- 記録保存のため, 全出演団体の演目を撮影した。



川前の鹿踊剣舞保存会より剣舞

6. 伝統文化フェア

(1) 「せんだい伝統文化フェアin大倉」

- 開催期日 令和4年10月16日(日)
- 会場 大倉ふるさとセンター
- 来場者数 約550人
- 内容 茶道、華道、日本舞踊、邦楽(箏、三味線)、百人一首、伝統工芸、郷土料理、郷土芸能に係る鑑賞、体験
- 文化庁「伝統文化親子教室事業(地域展開型)」の委託事業として実施



邦楽(箏)の演奏体験

(2) 「第12回城下町せんだい伝統文化フェア」

せんだい伝統文化フェア実行委員会との共催により, 令和5年1月21日に仙台市立荒町小学校にて開催し, 子供たちが日頃取り組んできた伝統文化の成果をステージ等で披露した。当日の様子はYouTubeにて公開された。

7. 文化財等の展示

(1) 文化財展

◆ 第76回文化財展「文化財この一年」

仙台市の文化財について, 令和3年度事業の成果を中心に, 発掘調査で出土した遺物や文化財資料, 解説パネルを展示した。

- 実施日時 令和4年6月14日～8月21日
- 会場 東北電力グリーンプラザ とうほく文化情報コーナー

II. 文化財の普及啓発

○報道機関 1社

◆ 第77回文化財展【中止】

※令和4年3月16日の福島県沖地震による仙台北城跡の災害復旧業務への対応を図るため。

(2) ふるさとギャラリー等での展示

旧泉市ならびに旧秋保町の文化財を紹介することを目的に、旧泉市民俗資料館及び旧秋保町資料館が所蔵していた民俗資料・歴史資料・考古資料等を中心に、展示・公開している。

8. 遺跡訪問・職場体験等

発掘調査現場や展示室等の見学訪問を実施したほか、「自分づくり教育（仙台版キャリア教育）」の一環として、発掘・整理作業を実際に行う職場体験等を実施した。

(1) 遺跡・展示室訪問

No.	対応日	内容	依頼元	人数
1	4月16日	仙台北城跡見学	香川大学	4
2	5月13日	仙台北城跡見学	白河市	1
3	6月30日	郡山中学校ピロティ見学	個人	6
4	7月1日	仙台北城跡見学	文化財建造物保存技術協会	3
5	7月6日	仙台北城跡見学	香川大学	2
6	7月7日	仙台北城跡見学	東京都埋蔵文化財センター	1
7	7月21日	仙台北城跡見学	名古屋市	3
8	7月28日	郡山遺跡見学	個人	1
9	8月24日	郡山中学校ピロティ見学	個人	3
10	8月24日	郡山中学校ピロティ見学	國學院大學	3
11	9月22日	郡山中学校ピロティ見学	名取市郷土史研究会	26
12	9月22日	郡山遺跡見学	名取市郷土史研究会	26
13	10月18日	郡山中学校ピロティ見学	八本松小学校	62
14	10月19日	郡山中学校ピロティ見学	地底の森ミュージアム	17
15	10月19日	郡山遺跡見学	地底の森ミュージアム	15
16	10月20日	富沢遺跡見学	地底の森ミュージアム	20
17	11月10日	蒲生御蔵跡見学	地底の森ミュージアム	11

(2) 職場体験

No.	対応日	依頼元	人数
1	5月25日～27日	長町中学校	3
2	7月12日～13日	人來田中学校旗立分教室	3
3	8月23日～25日	八軒中学校	2
4	10月27日	青陵中等教育学校	3
5	11月1日	南小泉中	3
6	11月8日～10日	北仙台中学校	4
7	11月9日～11日	田子中学校	3

No.	対応日	依頼元	人数
8	11月11日	南小泉中学校	3
9	11月11日	七郷中学校	3
10	11月11日	台原中学校	3
11	11月15日～17日	富沢中学校	6
12	11月16日	柳生中学校	3
13	11月16日	富沢中学校	3
14	11月16日	向陽台中学校	3
15	11月30日	第二中学校	3

(3) 市民センターまつり等との共催事業

※新型コロナウイルス感染症対策のため、下記の事業を開催中止とした。

- ・高砂市民センターふるさとまつり 展示・体験コーナーの設置
- ・若林区民ふるさとまつり 展示コーナーの設置
- ・仙台市PTAフェスティバル 体験ブースの出展

9. 遺跡見学会・記者発表

10月29日（土）に、蒲生御蔵跡（宮城野区蒲生）にて遺跡見学会を実施し、当日は106名が来場した。また、第76回文化財展では、報道機関1社への情報提供を行った。

10. 文化財デジタル活用事業

市内に所在する指定・登録文化財の情報を「仙台市の指定・登録文化財」として、また、市内に所在する遺跡の情報を「仙台市の遺跡」として、仙台市ホームページ上で公開している。このほか、文化財課からのお知らせや文化財の新規指定・登録、行事予定、発掘成果、各種刊行物の案内などの公開も行っている。

11. 文化財関係図書の頒布

○市政情報センター、若林区情報センター、太白区情報センター頒布分

- ・仙台市文化財調査報告書第106集「仙台市文化財分布調査報告書V」（昭和62年3月） ¥1,200
- ・仙台市文化財調査報告書第259集「仙台城跡1」（平成14年3月） ¥1,000
- ・仙台市文化財調査報告書第270集「仙台城跡3」（平成16年3月） ¥1,680
- ・仙台市文化財調査報告書第271集「仙台城跡4」（平成16年3月） ¥2,670
- ・仙台市文化財調査報告書第275集「仙台城本丸跡1次調査 第4分冊（石垣図版編）」
（平成16年3月） ¥3,000
- ・仙台市文化財調査報告書第282集「仙台城本丸跡1次調査 第3分冊（出土遺物編）」
（平成17年3月） ¥4,800
- ・仙台市文化財調査報告書第283集
「郡山遺跡発掘調査報告書 総括編(1)(2)セット」（平成17年3月） ¥5,800
- ・仙台市文化財調査報告書第285集「仙台城跡5」（平成17年3月） ¥1,680

II. 文化財の普及啓発

- ・ 仙台市文化財調査報告書第297集「仙台城跡6」(平成18年3月) ¥500
 - ・ 仙台市文化財調査報告書第298集「仙台城本丸跡1次調査 第2分冊(遺構編)」(平成18年3月) ¥2,200
 - ・ 仙台市文化財調査報告書第299集
「仙台城跡地震災害石垣復旧事業及び史跡整備事業報告書 中門跡・清水門跡」(平成18年3月) ¥1,300
 - ・ 仙台市文化財調査報告書第304集「天賞酒造に係る文化財調査報告書」(平成18年11月) ¥1,400
 - ・ 仙台市文化財調査報告書第305集「大崎八幡宮の松焚祭と裸参り調査報告書」(平成19年6月) ¥1,000
 - ・ 仙台市文化財調査報告書第309集「仙台城跡7」(平成19年3月) ¥890
 - ・ 仙台市文化財調査報告書第330集「仙台城跡8」(平成20年3月) ¥1,030
 - ・ 仙台市文化財調査報告書第348集「仙台城跡9」(平成21年3月) ¥1,140
 - ・ 仙台市文化財調査報告書第349集「仙台城本丸跡1次調査 第1分冊(本文編)」(平成21年3月) ¥1,000
 - ・ 仙台市文化財調査報告書第374集「仙台城跡10」(平成22年3月) ¥1,300
 - ・ 仙台市文化財調査報告書第395集「仙台城跡11」(平成23年3月) ¥1,000
 - ・ 仙台市文化財調査報告書第461集「仙台城跡12」(平成29年3月) ¥1,600
 - ・ 仙台市文化財調査報告書第471集「仙台城跡13」(平成30年3月) ¥1,900
 - ・ 仙台市文化財調査報告書第479集「仙台城跡14」(平成31年3月) ¥1,900
 - ・ 仙台市文化財調査報告書第431集「『秋保の田植踊』の歴史と現在」(平成26年3月) ¥6,000
 - ・ 「仙台市泉区文化財分布地図」(平成5年3月) ¥8,000
 - ・ 「仙台市青葉区文化財分布地図」(平成6年3月) ¥9,000
 - ・ 「仙台市太白区文化財分布地図」(平成7年3月) ¥9,000
 - ・ 「仙台市宮城野・若林区文化財分布地図」(平成8年3月) ¥5,500
 - ・ 「仙台市の文化財」(平成8年3月) ¥2,500
 - ・ 仙台市文化財パンフレット第43集「仙台城本丸跡の発掘(改訂版)」(平成12年12月) ¥400
 - ・ 仙台市文化財パンフレット第45集「仙台城下絵図の魅力」(平成13年2月) ¥500
 - ・ 仙台市文化財パンフレット第35集「辻標(改訂2版)」(令和3年3月) ¥500
 - ・ 仙台市文化財パンフレット第55集「仙台の遺跡」(平成17年3月) ¥550
 - ・ 「デジタルミュージアム「仙台城」」DVD版¥1,000/☆
 - ・ 仙台市文化財調査報告書第485集「仙台城跡15」(令和2年3月) ¥3,000
 - ・ 仙台市文化財調査報告書第493集「仙台城跡16」(令和3年3月) ¥3,100
- ☆印, 市政情報センターのみの頒布

※上記はすべて税込価格

12. 講座・講演会への派遣

(1) 出前授業

合計72回の出前授業を行った。参加した児童の延べ人数は6,211人であった。

No.	派遣日	内容	依頼元	人数
1	5月9日	仙台に生きる	長町南小学校	115
2	5月20日	すずめ踊りの歴史・伝統	川平小学校	80
3	6月1日	縄文土器と弥生土器	南材木町小学校	53
4	6月3日	地域の歴史	東長町小学校	143

No.	派遣日	内容	依頼元	人数
5	6月10日	縄文土器と弥生土器	幸町小学校	41
6	6月14日	仙台城跡ガイド	長町南小学校	115
7	6月14日	伊達政宗と古城のつながり	古城小学校	56
8	6月17日	縄文土器と弥生土器	東長町小学校	130
9	6月17日	地域の歴史	広瀬小学校	111
10	6月20日	仙台を知ろう	西山小学校	44
11	6月21日	縄文土器と弥生土器	虹の丘小学校	54
12	6月22日	縄文土器と弥生土器	大沢小学校	48
13	6月23日	向陽台学区のひみつ	向陽台小学校	124
14	6月23日	郡山遺跡	東長町小学校	129
15	6月24日	仙台の遺跡	荒町小学校	79
16	6月29日	仙台市の祭と民俗芸能	ホライゾン学園仙台小学校	43
17	6月29日	縄文土器と弥生土器	鶴谷東小学校	32
18	6月30日	縄文土器と弥生土器	川前小学校	87
19	7月1日	縄文土器と弥生土器	榴岡小学校	156
20	7月5日	政宗と石でつながる南吉成	南吉成小学校	85
21	7月13日	土器づくり体験	遠見塚小学校	70
22	8月29日	地域の歴史	宮城野小学校	92
23	8月30日	地域の武将 伊達政宗	杜のひろば若林	4
24	8月30日	すずめ踊り	大和小学校	82
25	9月13日	南吉成の昔と今の様子	南吉成小学校	89
26	9月16日	昔の道具	燕沢小学校	79
27	9月22日	郡山官衙	八本松小学校	62
28	9月27日	残したいもの 伝えたいもの	住吉台小学校	62
29	9月28日	遠見塚古墳	遠見塚小学校	432
30	10月5日	土器焼き体験	遠見塚小学校	70
31	10月5日	仙台城ガイド	南光台小学校	111
32	10月17日	地域の歴史と遺跡	燕沢小学校	79
33	10月18日	江戸時代の仙台	西山小学校	54
34	10月18日	郡山ピロティガイド	八本松小学校	62
35	10月19日	古墳まつり	遠見塚小学校	432
36	10月28日	若林地域の歴史	若林小学校	47
37	11月2日	若林城フィールドワーク	若林小学校	47
38	11月8日	3人の武将と伊達政宗	東長町小学校	130
39	11月21日	残したいもの 伝えたいもの	榴岡小学校	147
40	11月22日	地域の歴史	古城小学校	55
41	11月29日	西山小学区の文化財	西山小学校	54
42	12月1日	仙台の遺跡	東北大学病院院内学級	7
43	12月2日	善応寺フィールドワーク	西山小学校	54
44	12月6日	発掘調査の仕事	東長町小学校	130

II. 文化財の普及啓発

No.	派遣日	内容	依頼元	人数
45	12月6日	東仙台の歴史	東仙台小学校	70
46	12月14日	地域の歴史と遺跡	燕沢小学校	67
47	1月18日	昔の道具	長町小学校	117
48	1月25日	昔の道具	将監小学校	50
49	1月26日	昔の道具	泉松陵小学校	57
50	1月30日	昔の道具	向山小学校	55
51	1月31日	昔の道具	南吉成小学校	88
52	2月1日	昔の道具	上愛子小学校	13
53	2月2日	昔の道具	蒲町小学校	150
54	2月3日	昔の道具	川前小学校	84
55	2月6日	地域の歴史	南光台小学校	121
56	2月8日	昔の道具	東四郎丸小学校	43
57	2月9日	文化財課の仕事	向山小学校	49
58	2月13日	昔の道具	榴岡小学校	148
59	2月14日	昔の道具	榴岡小学校	148
60	2月16日	昔の道具	加茂小学校	61
61	2月16日	昔の道具	秋保小学校	4
62	2月20日	地域の歴史	大沢小学校	65
63	2月21日	昔の道具	人来田小学校	53
64	2月22日	昔の道具	古城小学校	57
65	2月24日	昔の道具	愛子小学校	95
66	2月27日	昔の道具	南材木町小学校	66
67	2月28日	昔の道具	岡田小学校	25
68	2月28日	地域の歴史	秋保中学校	17
69	3月1日	昔の道具	東仙台小学校	61
70	3月2日	昔の道具	寺岡小学校	109
71	3月6日	地域の歴史	広瀬小学校	110
72	3月13日	昔の道具	長命ヶ丘小学校	52



文化財課職員による出前授業



発掘調査現場とのLIVE中継

(2) 出前講座等

合計45回の出前講座を行った。受講者数は延べ1,664人であった。

No.	対応日	詳細	依頼元	人数
1	5月14日	岩切の歴史	岩切市民センター	24
2	5月26日	茂庭台地域の遺跡, 歴史について	茂庭台市民センター	15
3	5月28日	発掘! 富沢遺跡	地底の森ミュージアム	27
4	5月29日	陸奥国分寺鐘楼について～修理工事から分かったこと～	陸奥国分寺薬師堂ガイドボランティア会	13
5	6月3日	遠見塚古墳ガイド	国際交流サービス	17
6	6月4日	慶長遣欧使節	仙台市博物館ボランティア三の丸会	30
7	6月5日	陸奥国府の成立～郡山遺跡と多賀城～	奥州市埋蔵文化財調査センター	45
8	6月16日	調査からわかる政宗の城～仙台城～	折立市民センター 老壮大学	40
9	7月12日	多賀城以前の陸奥国府～郡山遺跡～	ホテル佐勘	45
10	7月13日	人間と音楽	宮城教育大学	45
11	7月15日	仙台の祭り	仙台・文化財サポーター会	15
12	7月24日	生出周辺の城と仙台の戦国時代	おいで歩美会	8
13	8月8日	郡山廃寺から陸奥国分寺へ	陸奥国分寺薬師堂ガイドボランティア会	38
14	8月9日	三神峯公園の遺跡について	西多賀市民センター	7
15	8月17日	地域の伝統を伝える～民俗芸能や建物などの魅力～	歴史史跡巡りの会	20
16	8月25日	仙台の歴史 (ラジオ出演)	エフエムしろいし	-
17	8月30日	調査からわかる政宗の城～仙台城～	沖野老人福祉センター	15
18	9月3日	最新の発掘及び建造物から見た中近世の陸奥国分寺について	宮城県考古学愛中近世部会	15
19	9月9日	ふるさとギャラリーの展示解説	泉区中央市民センター	10
20	9月9日	遺跡等から学ぶ災害の歴史	ぽっかぽかサロン	30
21	9月13日	調査からわかる政宗の城～仙台城～	郡山老人福祉センター	12
22	10月13日	郡山遺跡について	ふるさとを愛する歴史の会	40
23	10月14日	泉区の歴史	将監市民センター	70
24	10月15日	文化財行政より見た震災遺構	宮城学院女子大学	30
25	10月19日	遺跡等から学ぶ災害の歴史	東中田市民センター	70
26	10月20日	多賀城以前の陸奥国府～郡山遺跡～	諏訪長生クラブ	35
27	10月26日	発掘調査でわかった仙台の歴史	柳生市民センター	50
28	10月27日	陸奥国分寺と鐘楼跡	八本松市民センター	41
29	11月1日	仙台城ガイド	郡山老人福祉センター	19
30	11月10日	根白石を中心とした歴史と文化	根白石市民センター老壮大学	46
31	11月19日	仙台の瓦について	柏木市民センター	8
32	11月25日	遺跡等から学ぶ災害の歴史	宮城県年金協会仙台支部	70
33	12月7日	仙台城跡の復元について	仙台明治青年大学	400
34	12月7日	愛子周辺の歴史	愛子の郷交流会	11
35	12月11日	仙台発掘最前線～2022～	縄文の森広場	28
36	12月14日	遺跡等から学ぶ災害の歴史	加茂小学校区社会学級	8
37	12月17日	調査からわかる政宗晩年の城～若林城～	若林市民センター	15
38	12月17日	仙台市における文化財行政と今後の展望について	日本建築家協会	30

II. 文化財の普及啓発

No.	対応日	詳細	依頼元	人数
39	12月21日	陸奥国分寺・尼寺の成り立ち（現地案内）	まちなか歩きたい	10
40	1月18日	史跡指定100年～陸奥国分寺の歴史～	高砂老壮大学	60
41	1月19日	調査からわかる政宗の城～仙台北～	黒松市民センター	50
42	2月5日	仙台の民俗芸能	縦糸横糸合同会社	22
43	2月7日	今市東遺跡について	岩切市民センター	30
44	3月12日	仙台の民俗芸能	縦糸横糸合同会社	10
45	3月25日	災害と遺跡	仙台藩志会	70

13. 共催・後援事業等

教育・学術・文化の普及及び向上のため、第69回日本伝統工芸展仙台展等を共催し、第25回仙台青葉能等を名義後援した。

Ⅲ. 埋蔵文化財の調査

1. 調査一覧

国庫補助事業としては、北目城跡（10件）、壇腰遺跡、南小泉遺跡（6件）、今泉遺跡、前田館跡、鴻ノ巣遺跡、戸ノ内遺跡、内手遺跡の個人専用住宅等22件の調査を実施した。なお、国庫補助事業以外の個人専用住宅等の調査を北目城跡（2件）、郡山遺跡、南小泉遺跡、上野遺跡、大野田官衙遺跡、今泉遺跡、養種園遺跡、富沢館跡で9件実施した。

受託事業としては、富沢館跡、今市東遺跡、蒲生御蔵跡ほかで計29件の調査を実施した。市関連事業としては、内城Ⅰ遺跡、鴻ノ巣遺跡隣接地、仙台北城跡、貞山堀、荒井南遺跡、南小泉遺跡で6件の調査を実施した。

その他に、郡山遺跡及び陸奥国分寺跡の範囲確認調査のほか、郡山遺跡の個人住宅関連の調査を5件実施した。また郡山遺跡、仙台北城跡、高江遺跡、大野田古墳群、富沢遺跡、富沢館跡、などの整理作業を行い、報告書作成・刊行に関して7件実施した。

●令和4年度 埋蔵文化財調査事業一覧

No.	遺跡名	所在地	調査原因	調査期間	調査面積 (㎡)	主な遺構	調査担当	届出等No.
1	北目城跡	太白区東郡山2丁目	個人住宅	4月13～18日	12.0	ピット、土師器	早川・吉田・狩野	R3 108-514
2	北目城跡第20次	太白区東郡山2丁目	個人住宅	4月13～18日	16.0	堀跡	早川・吉田・狩野	R3 108-542
3	郡山遺跡第318次	太白区郡山6丁目	個人住宅	4月19～22日	15.0	溝跡、井戸跡、土師器、須恵器、瓦	菅原・妹尾	R4 104-26
4	富沢館跡第23次	太白区富沢西1丁目	共同住宅	4月25～28日	36.0	堀跡、近世瓦など	早川・吉田・狩野・堀江・山口・須貝	R2 102-129
5	富沢館跡第24次	太白区富沢西1丁目	共同住宅	4月25～28日	36.0	堀跡	早川・吉田・狩野・堀江・山口・須貝	R3 109-163
6	大野田古墳群第25次	太白区大野田5丁目	マンション建設	4月28日～7月28日	1,509.8	小溝状遺構群、住居跡（縄文時代）、土師器、縄文土器	工藤・柳澤	R4 104-205
7	芦ノ口遺跡	太白区西の平1丁目	宅地造成	5月9日	18.0	遺構・遺物なし	早川・吉田・狩野・山口・堀江	R4 104-23
8	羽黒前遺跡第1次	宮城野区岩切字羽黒前地内	土地区画整理	5月27日～3月24日	5,262.0	竪穴住居跡（古代）、溝跡、土塁、須恵器、土師器	高橋	R1 102-79
9	内城Ⅰ遺跡	太白区坪沼字山田	バイパス建設	5月11日～6月21日	153.0	近世陶器など	早川・山口	R3 103-58
10	北目城跡第22次	太白区東郡山2丁目	個人住宅	5月11～13日	16.0	堀跡	吉田・堀江	R4 104-6
11	北目城跡	太白区東郡山2丁目	個人住宅	5月11～12日	12.0	遺構・遺物なし	吉田・堀江	R4 104-7
12	郡山遺跡第319次	太白区郡山3丁目	範囲確認	5月16日～7月21日	200.0	掘立柱建物跡・溝跡・土坑・ピット、土師器・須恵器・金属製品	妹尾・菅原	—
13	壇腰遺跡	太白区中田7丁目	個人住宅	5月18～20日	12.0	ピットなど、土師器	吉田・堀江	R4 104-21
14	北目城跡第21次	太白区郡山字北目宅地	宅地造成	5月23～24日	9.0	堀跡・近世陶器など	吉田・早川・堀江	R3 109-147
15	今市東遺跡第1次	宮城野区岩切字今市東の一部	区画整理	5月23日～8月9日	1,107.7	遺物包含層、弥生土器	須貝・狩野	H31 102-60
16	蒲生御蔵跡第1次	宮城野区蒲生3丁目9-1	物流倉庫建設	5月25日～12月2日	3,389.0	建物跡、溝跡、土坑、陶磁器、木簡	平間	R2 102-112

Ⅲ. 埋蔵文化財の調査

No.	遺跡名	所在地	調査原因	調査期間	調査面積 (㎡)	主な遺構	調査担当	届出等No.
17	富沢遺跡第154次	太白区富沢2丁目	校舎増築	6月1日～ 3月20日	784.0	竪穴住居跡（古代）、 河川跡、溝跡、須恵 器、土師器	柳澤・工藤	R3 102-57
18	富沢遺跡第155次	太白区鹿野3丁目	事務所建築	6月1日～9日	18.0	水田跡、近世陶器	早川・山口	R3 109-145
19	新道遺跡	泉区市名坂鳥井原	共同住宅	6月6日	9.0	遺構・遺物なし	早川・近藤・ 堀江	R4 104-55
20	南小泉遺跡	若林区遠見塚2丁目	個人住宅	6月9～10日	12.0	遺構・遺物なし	吉田・堀江	R4 104-81
21	富沢遺跡第156次	太白区長町南4丁目	建売住宅	6月13～15日	18.0	畦畔（古代）、水田 耕作土、近世磁器、 火鉢？、近代陶器	早川・山口	R4 104-61
22	郡山遺跡第320次	太白区郡山3丁目	共同住宅	6月23日～ 9月30日	280.0	掘立柱建物跡、竪穴住 居跡、溝跡、土師器、 須恵器、瓦、円面硯	吉田・堀江	R3 109-161
23	元袋遺跡	太白区大野田5丁目	共同住宅	6月18日	30.0	遺構・遺物なし（河 川堆積層）	及川・近藤・堀江・ 吉田・早川	R4 105-11
24	今泉遺跡	若林区今泉2丁目	個人住宅	6月23～27日	12.0	性格不明遺構・土師器	早川・山口	R4 104-98
25	北目城跡	太白区郡山字北目宅地	個人住宅	7月4日～5日	12.0	遺構・遺物なし	早川・山口	R3 108-551
26	前田館跡	太白区中田6丁目	個人住宅	7月6日	10.8	遺構・遺物なし	長島・庄子・ 早川	R4 104-124
27	富沢遺跡第157次	太白区鹿野3丁目	マンション建設	7月11日～ 10月26日	190.0	畦畔、水田耕作土、 土師器	柳澤・工藤	R4 105-15
28	北目城跡第23次	太白区東郡山2丁目	個人住宅	7月12日～21日	12.0	堀跡、ピット（掘立 柱建物跡？）、土師 器、古銭	早川・山口	R4 104-104
29	北目城跡第24次	太白区東郡山2丁目	個人住宅	7月12日～21日	12.0	井戸跡、ピット	早川・山口	R4 104-130
30	南小泉遺跡	若林区南小泉4丁目	個人住宅	7月14日	12.0	遺構・遺物なし	長島・庄子・ 早川	R4 104-99
31	郡山遺跡第321次	太白区郡山6丁目	個人住宅	7月21～28日	56.5	溝跡、材木列？	長島・庄子・ 堀江	R3 108-516
32	北目城跡第25次	太白区東郡山2丁目	個人住宅	7月26～28日	12.0	堀跡	早川・山口	R4 104-101
33	鴻ノ巣遺跡	宮城野区岩切字鴻巣	個人住宅	8月1日	12.0	遺構・遺物なし	早川・山口	R4 104-112
34	南小泉遺跡	若林区遠見塚2丁目	個人住宅	8月2日	12.0	土坑・土師器	長島・庄子・ 堀江	R4 104-126
35	北目城跡	太白区東郡山2丁目	個人住宅	8月4～5日	13.5	堀跡・近世陶器など	早川・山口・ 堀江	R4 104-138
36	大野田官衙遺跡第22次	太白区大野田5丁目	共同住宅	8月23～26日	57.0	掘立柱建物	須貝・吉田・ 堀江	R4 105-18
37	北目城跡第21次	太白区郡山字北目宅地	建売住宅	8月22～25日	24.0	堀跡	須貝・狩野	R4 104-173・ 175・176
38	北目城跡第26次	太白区郡山字北目宅地	個人住宅	8月22～25日	18.0	堀跡	須貝・狩野	R4 104-199
39	南小泉遺跡	若林区遠見塚2丁目	共同住宅	8月29～31日	30.5	遺構・遺物なし	吉田・堀江・ 狩野	R4 104-73
40	富沢遺跡第156次	太白区長町南4丁目	共同住宅	8月22日～ 10月7日	115.0	水田耕作土、畦畔、足跡遺 構、近世陶器、近世～近代瓦、 土師器片、ニホンジカ骨	早川・山口	R3 109-148
41	羽黒堂前B遺跡	太白区山田北前町	建売住宅	9月6日	12.0	遺構・遺物なし	吉田・堀江	R4 104-152
42	戸ノ内遺跡	太白区四郎丸神明	個人住宅	9月5～6日	12.0	ピット	須貝・狩野	R4 104-166
43	郡山遺跡第322次	太白区郡山3丁目	個人住宅	9月12～14日	17.0	溝跡（Ⅱ期大溝）、ピット	堀江・庄子・ 狩野・吉田	R4 104-169
44	北目城跡第27次	太白区東郡山2丁目	個人住宅	9月26～28日	20.0	堀跡、ピット、土坑	須貝・狩野	R4 104-202

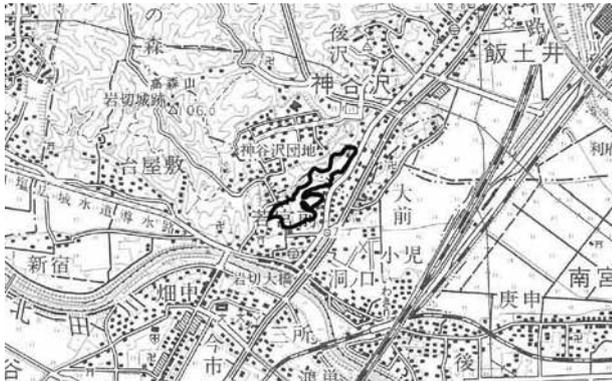
No.	遺跡名	所在地	調査原因	調査期間	調査面積 (㎡)	主な遺構	調査担当	届出等No.
45	南小泉遺跡	若林区南小泉4丁目	宅地造成	9月21～22日	28.0	遺構なし、土師器片	近藤・堀江・狩野・吉田	R4 105-51
46	愛宕山横穴墓群	太白区向山4丁目	共同住宅	10月3～4日	12.0	谷	吉田・堀江・狩野	R4 105-20
47	内手遺跡	太白区袋原字内手	個人住宅	10月11～12日	12.0	性格不明遺構	庄子 狩野	R4 104-213
48	陸奥国分寺跡第32次	若林区木下3丁目	範囲確認	10月11日～ 12月6日	170.0	掘立柱建物跡・溝跡・土坑・ 性格不明遺構・ピット、土 師器・須恵器・平瓦・丸瓦	妹尾・菅原	—
49	郡山遺跡第323次	太白区郡山5丁目	個人住宅	10月17～19日	12.0	溝跡	吉田・堀江	R4 104-214
50	京ノ中遺跡	太白区富沢西3丁目	建売住宅	10月20、21日	36.0	ピット、須恵器	早川・吉田・ 狩野	R4 104- 250・251
51	郡山遺跡第324次	太白区郡山3丁目	個人住宅	10月27日～ 11月2日	15.0	竪穴建物跡、ピット、 土坑、性格不明遺構、 土師器、須恵器	庄子・堀江	R4 104-230
52	平治遺跡	青葉区上愛子字橋本	宅地造成	11月7日	3.0	遺構・遺物なし	吉田・堀江・ 山口	R4 105-47
53	御堂平遺跡隣接地	太白区御堂平他	区画整理	11月14日	2.0	遺構・遺物なし	吉田・堀江・ 狩野	R4 109-119
54	鴻ノ巣遺跡隣接地	宮城野区岩切字高江	道路拡幅	11月16～24日	63.3	畦畔	須貝・山口・ 狩野	R4建道北第 793号
55	南小泉遺跡	若林区遠見塚2丁目	個人住宅	11月22～29日	12.0	溝跡・近世瓦	庄子・吉田	R4 104-267
56	仙台城跡	青葉区川内追廻	公園整備	11月29～30日	225.0	鉄製品、陶磁器	須貝・木村・ 堀江・山口	R4 106-22
57	富沢遺跡第156次	太白区長町南4丁目	建売住宅	12月1～6日	18.0	木製品?	早川・吉田	R4 104-320
58	沼向遺跡	宮城野区仙台北港北2丁目	施設建設	12月1日～ 3月17日	637.0	河川・水田・土師器	三浦・高橋・ 平間	R4 105-60
59	南小泉遺跡	若林区南小泉2丁目	個人住宅	12月5日	12.0	遺構・遺物なし	山口・堀江	R4 104-288
60	郡山遺跡第325次	太白区郡山5丁目	水路建設	12月12～14日	7.0	土師器、須恵器、瓦	菅原・妹尾	R4建建管 833
61	郡山遺跡第326次	太白区郡山3丁目	個人住宅	12月12～16日	12.0	土師器・須恵器	庄子・狩野	R4 105-78
62	南小泉遺跡	若林区遠見塚1丁目	個人住宅	12月12～14日	12.0	土師器、須恵器、近世瓦	吉田・堀江	R4 104-290
63	富沢館跡第25次	太白区富沢西1丁目	賃貸住宅	12月19日	24.0	堀跡	須貝・山口・ 堀江	R4 104-352
64	北目城跡	太白区東郡山2丁目	個人住宅	1月10日	12.0	ピット	須貝・山口	R4 104-342
65	南小泉遺跡	若林区遠見塚1丁目	個人住宅	1月16～18日	12.0	井戸跡・土師器	吉田・堀江	R4 104-357
66	上野遺跡	太白区富田上野西	個人住宅	1月19～24日	12.0	竪穴住居跡・縄文土器多量	庄子・狩野・ 吉田	R4 104-344
67	貞山堀	若林区藤塚字土手外	橋脚撤去	1月23日	-	遺構・遺物なし	吉田・堀江	R4 106-26
68	大野田官衙遺跡	太白区大野田5丁目	個人住宅	2月1日	12.0	遺構・遺物なし	須貝・山口	R4 104-345
69	荒井南遺跡	若林区荒井3丁目地内	道路拡幅工事	2月8～9日	20.0	水田耕作層	須貝・山口・ 狩野	R4 106-88
70	今泉遺跡	若林区今泉2丁目	個人住宅	2月6日	12.0	水田畦畔	堀江・吉田	R4 104-362
71	養種園遺跡	若林区南小泉1丁目	個人住宅	2月16日	9.0	遺構・遺物なし	庄子・狩野	R4 104-371
72	富沢館跡第26次	太白区富沢西1丁目	個人住宅	2月20日	12.0	堀跡、陶磁器	須貝・山口	R4 104-381
73	南小泉遺跡	若林区霞目1丁目	道路整備(水路)	2月24日	-	遺構・遺物なし	堀江・吉田・ 山口	R3 103-57

Ⅲ. 埋蔵文化財の調査

(1) 羽黒前遺跡 第1次発掘調査

- | | | | |
|--------|---------------------|--------|----------------|
| 1 調査地 | 仙台市宮城野区岩切字羽黒前地内 | 4 調査原因 | 土地区画整理事業 |
| 2 調査期間 | 令和4年5月27日～令和5年3月24日 | 5 調査員 | 高橋純平, 株式会社三協技術 |
| 3 調査面積 | 5,262.0㎡ | | |

羽黒前遺跡はJR岩切駅の北側に位置しており、遺跡の北側が利府町、南側が仙台市となっている。調査地点は仙台市側の山林であり、発掘調査は令和3・4年度の2年にわたり実施された。令和4年度の調査は北半部を対象として実施しており、8世紀後半から9世紀前半の竪穴住居跡や溝跡、土塁状遺構、土坑が検出された。竪穴住居跡の数は約30軒で、令和3年度に行われた利府町側の発掘調査で検出された竪穴住居群と合わせて集落を形成していたと考えられる。



羽黒前遺跡

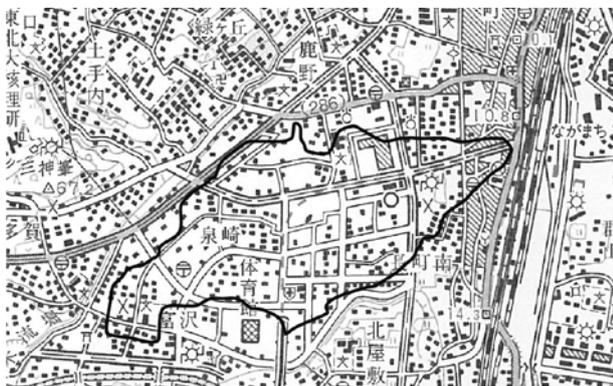


調査区西側の竪穴住居群（南から）

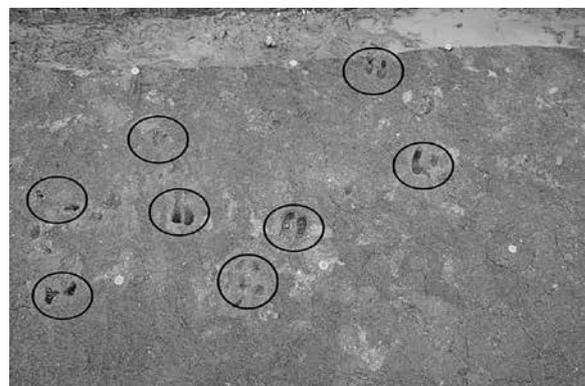
(2) 富沢遺跡 第156次調査

- | | | | |
|--------|-----------------|--------|------------|
| 1 調査地 | 仙台市太白区長町南4丁目 | 4 調査原因 | 共同住宅建設工事 |
| 2 調査期間 | 令和4年8月22日～10月7日 | 5 調査員 | 早川太陽, 山口沙織 |
| 3 調査面積 | 115.0㎡ | | |

富沢遺跡は水田跡を中心とした大規模な複合遺跡である。名取川の支流である笹川の自然堤防に挟まれた後背湿地に位置し、弥生時代以降の水田や旧石器時代の森林やたき火跡が検出されている。今回の調査地点は遺跡の南側で、水田跡3面のほか畦畔2条、性格不明遺構1基、溝跡1条、動物の足跡が検出された。畦畔のうち1条は検出幅が5m以上と大規模であるため、古代の大畦畔の一部と考えられる。動物の足跡は近世の水田面で確認され、いずれもウシなどの偶蹄目とみられる。



富沢遺跡



動物の足跡 検出状況

(3) 富沢館跡 第23・24次調査

- | | | | |
|--------|---------------|--------|--------------------------------------|
| 1 調査地 | 仙台市太白区富沢西1丁目 | 4 調査原因 | 共同住宅建築工事 |
| 2 調査期間 | 令和5年4月25日～28日 | 5 調査員 | 堀江洋介, 狩野佑介, 須貝慎吾,
早川太陽, 吉田大, 山口沙織 |
| 3 調査面積 | 72.0㎡ | | |

富沢館跡は富沢西1丁目に所在し、名取川の支流である筈川の自然堤防上に立地する。中世に当地域一帯は国人領主栗野氏の支配領域となって城館が造営されたと考えられる。平成25年度から始まった土地区画整理事業に伴い富沢館跡の様相は大きく変化したが、中心部の土塁は保存され現在もその姿を残している。今回の調査地点は館跡の中心部のやや南側に位置し、堀跡1条と土坑1基等が検出された。堀跡の方位は東西方向だが、途中で北へ屈曲する。今回検出された堀跡はこれまでの想定よりも南西へ傾いており、堀幅は約10～11mであることが判明した。



富沢館跡



SD01堀跡検出状況

(4) 蒲生御蔵跡 第1次発掘調査

- | | | | |
|--------|-----------------|--------|----------------|
| 1 調査地 | 仙台市宮城野区蒲生3丁目9-1 | 4 調査原因 | 物流倉庫建設 |
| 2 調査期間 | 令和4年5月25日～12月2日 | 5 調査員 | 平間亮輔, 株式会社アコード |
| 3 調査面積 | 3,389.0㎡ | | |

蒲生御蔵跡は蒲生の海岸から約1.5km、七北田川から北に約0.5kmに位置する。遺跡は南北約120m、東西約110mの方形で、東辺が「貞山堀」（御舟入堀）から西に張り出す「舟溜り」に接している。発掘調査地点は御蔵跡の西部で、遺跡範囲の約1/4が調査された。調査の結果、仙台藩の蔵と推定される建物跡7棟の他、堀跡2条、土坑14基が検出された。なお、木簡が100点以上出土したが、これは運搬された物資に付けられていた荷札であり、当時の物流の形態を具体的に示す資料として重要である。



蒲生御蔵跡



建物群全景 (南から)

(5) 今市東遺跡 第1次発掘調査

- | | | | |
|--------|------------------|--------|------------|
| 1 調査地 | 仙台市宮城野区岩切字今市東の一部 | 4 調査原因 | 土地区画整理事業 |
| 2 調査期間 | 令和4年5月23日～8月9日 | 5 調査員 | 狩野佑介, 須貝慎吾 |
| 3 調査面積 | 1,107.7㎡ | | |

今市東遺跡は、仙台市宮城野区岩切字今市東の自然堤防と後背湿地の中間に立地し、県道8号線（利府街道）の西側に位置している。遺跡の北約1.1kmには七北田川が流れており、その七北田川右岸には、主に古墳時代から中世の集落が見つかっている今市遺跡や鴻ノ巣遺跡が広がる。その南側で令和2・3年度の調査で弥生時代の水田が発見されている高江遺跡がある。今市東遺跡は、その高江遺跡から西に約300m離れた場所に位置する。調査では、区画整理の道路部分を対象に調査を行った。その結果、弥生時代の土坑群と古代以降の溝跡と中近世以降と考えられる井戸跡、土坑が検出された。さらに弥生時代の遺物包含層と土坑の堆積土から、弥生土器と石器が多量に出土した。



今市東遺跡



遺物包含層検出状況

(6) 北目城跡 第20～27次発掘調査

- | | | | |
|--------|-----------------|--------|--------------------------------------|
| 1 調査地 | 仙台市太白区東郡山2丁目他 | 4 調査原因 | 個人住宅新築工事他 |
| 2 調査期間 | 令和4年4月13日～9月28日 | 5 調査員 | 堀江洋介, 狩野佑介, 須貝慎吾,
早川太陽, 吉田大, 山口沙織 |
| 3 調査面積 | 139.0㎡ | | |

北目城跡は広瀬川右岸の自然堤防上に立地する平城跡で、関ヶ原の戦いの際には伊達政宗が入ったことが知られる。今回の調査地点は城跡の南部と南東部で、平成4～5年度に実施された第1次調査で確認された溝跡の延長部分が確認され、また令和2年度に行われた第10次調査で確認された堀跡の延長部分が6箇所確認された。第25次調査では、SD1堀跡の北側で、近世墓が検出された。墓は桶に遺骸を納めて埋納したものと考えられる。遺物は陶磁器片や土師質土器の灯明皿などが出土した。



北目城跡



近世墓検出状況（西から）

(7) 大野田官衙遺跡 第22次調査

- | | | | |
|--------|-----------------|--------|-----------------|
| 1 調査地 | 仙台市太白区大野田5丁目 | 4 調査原因 | 共同住宅新築工事 |
| 2 調査期間 | 令和4年8月23日～8月26日 | 5 調査員 | 堀江洋介, 須貝慎吾, 吉田大 |
| 3 調査面積 | 57.0㎡ | | |

大野田官衙遺跡は、JR仙台駅の南約5.2kmの名取川と筑川に挟まれた標高10～12mの自然堤防上に立地する。平成21年に遺跡登録され、これまでの調査で6棟の掘立柱建物跡とそれを方形に囲む溝跡が確認されており、官衙の範囲が東西約190m、南北約260mであることが明らかになった。第22次調査地点は遺跡の南部にあたる。今回の調査では、掘立柱建物跡1棟、ピット2基が検出された。既に確認されている建物と同時期の建物の可能性があるが、柱間の間隔が空いていることから、一連の建物と判断するにはさらに検討を要する。



大野田官衙遺跡



柱穴検出状況

2. 遺跡の新規登録, 範囲・内容変更

(1) 遺跡の範囲変更

○南館跡 21091 (青葉区分布地図P77左)

所在地 仙台市青葉区下愛子字観音堂

経緯 令和3年度に土地区画整理事業に伴い遺跡の北西側およびその隣接地で実施した試掘・確認調査で堀跡、溝跡、性格不明遺構が検出され、陶器、磁器が出土したことから、遺跡範囲を変更した。



(2) 遺跡の内容変更

○高江遺跡 01580 (宮城野区分布地図P 6右)

所在地 仙台市宮城野区岩切字高江, 今市東

経緯 令和5年3月24日付で当該遺跡の文化財分布地図における時代(弥生)に平安, 中世を, 出土品(弥生土器, 石器)に土師器, 須恵器, 中世陶器をそれぞれ追加した。

○桜ヶ岡公園遺跡 01562 (青葉区分布地図P81左)

所在地 仙台市青葉区桜ヶ岡公園地内

経緯 令和5年3月31日付で当該遺跡の文化財分布地図における時代(近世)に近代を追加し, 当該遺跡内に所在する防空壕も取扱いの対象となった。

IV. 文化財の調査

1. 阿弥陀寺木造聖観音菩薩立像及び仙岳院木造菩薩立像

両像は、仙台市内の2カ寺に別々に所蔵されていながら、その大きさや材質、構造、作風などから、鎌倉時代（13世紀）に一对の像として制作された、市内でも貴重な仏像であると推測されてきた。そのため、令和4年11月21日、以上の観点から確認調査を実施した。調査は、主として酒井昌一郎（仙台市博物館学芸企画室長）が行い、佐々木徹（仙台市文化財課主任）が補助した。調査内容及び考察結果は下記のとおりである。

(1) 阿弥陀寺 木造聖観音菩薩立像

1 名称 木造聖観音菩薩立像（仙台市登録有形文化財）

2 員数 1 軀

3 所在 仙台市若林区新寺 阿弥陀寺 観音堂

4 像容

垂髻^{すいけい}を結び、上下に元結紐^{もとゆいひも}をあらわす。天冠台^{てんかんたい}は紐2条・列弁の上に八方の花弁をあらわす。天冠台より下の地髪部^{びやくごう}は、前面で髪束^{かみたば}を表した毛筋彫りとし、背面および天冠台より上を平彫りとする。白毫相^{びやくごう}をあらわす。耳朶環状・不貫^{じだ}。三道相^{ふかん}をあらわす。上半身に条帛^{さんどうそう}・天衣^{じょうはく}を着け、首回りで天衣を一段折り返す。下半身には裙^{くん}および腰布^{こしぬい}を着け、裙上端^{くさかみ}を折り返す。（または、腰布を着けず裙上端を二段に折り返す。）裙の左右両側^{くく}に括れ^{すいか}を表す。右手は垂下^{たなごころ}し掌^{てのひら}を前方へ向けて五指^{ごしゆ}を延べ、左手は屈臂^{くつび}して胸前^{むね}へ挙げ、第2・5指^にを軽く曲げ、第1・3・4指^にを捻^{ねん}じて未開敷蓮華^{みかいふ}（後補）の茎^{くき}を執^とる。腰を左へ捻^{ひね}り、右膝^{ひざ}をゆるめて立つ。

5 法量（単位：cm）

<本体>

像高84.6 髪際高73.5 頂-顎^{あご}（顎括りマデ）20.4 面長（垂直）8.2 面幅（水平）8.9 耳張^{はり}11.0
面奥11.2 臂張^{ひじはり}24.8 腋下幅^{わき}14.3 胸奥（左）11.6（右）11.0 腹奥（着衣含）11.8 裙裾張^{すそ}17.9
足先開（外）13.5（内）6.0 足柄^{ほぞ}（後補）前幅9.0 奥3.0 出（右）6.0 出（左）6.2

<台座>

框座^{かまち} 総高38.7 幅51.0 奥34.0

蓮華座 高6.0 幅26.1 奥25.0

<光背>

高109.0 最大幅48.7 奥18.5

柄幅6.1 奥1.7 出7.3

6 品質構造

木造・割り矧ぎ造り・素地。頭体幹部は木心を後方に外した針葉樹の一材から彫出し、耳後ろを通る線^{しん}で前後に割り矧ぐ。割首の痕跡は確認できない。面部を割り矧ぎとし、現状眼に木製の板材を嵌入する。白毫水晶製。鼻腔^{うが}を穿つ。像底に角型^{やといほぞ}の屨柄^{きび}1本を挿す。像表面は現状素地を呈し、古色仕上げとする。像底の一部に当初とみられる布貼り錆下地黒漆塗の層が残存する。この漆層の一部と条帛結び目^{さび}にわずかに金箔が残るが、当初のものか不明。頭髪^{くちひげ}を墨塗、眉・口髭^{くちひげ}を墨描とし、口唇に赤系色で彩色を施すが、いずれも当初か不明。

7 保存状態

現状の観察により知られる本体の後補部は次のとおり。頭上化仏・眼に嵌入された木製板・右臂より先・左肩の外寄りの部分および左臂より先・両足先・天衣垂下部・像底の角柄。左肩材と本体材の間には、当初のマチ材（表面に天衣の一部を彫刻）が配されているとみられるが、判然としない。後補である両足先（昭和50年代の調査写真でも確認できる）は、裾裾からのぞく残存部の形状からすれば、当初は右足の踵を上げた爪先立ちの姿であり、左足先も現状より甲高であったとみられる。

付属品のうち持物（未開敷蓮華）後補。舟形光背・台座は江戸時代の修理による後補のものであるが、近年の修理により台座蓮肉内部に柄を受けるための補強材が追加されている。

8 備考

『仙台市文化財調査報告書第57集』（昭和58年）に昭和54年または57年時点の調査写真が掲載されており、その後解体修理が行われたとみられるが、修理時の記録は残されていない。調査写真から読み取ることの出来る像の状態として、

- ・ 験の内側が空洞となっており、当初の玉眼が亡失しているとみられる。
- ・ 頭髪を除く全身が漆塗りとされ、頭髪は彩色仕上げ。着衣部および天冠台に金箔が貼られる。
- ・ 像表面の各所に漆の亀裂・剥落が確認でき、この層が当初の仕上げであったとみられる。
- ・ 天冠台上の正面地髪部に面部材の矧ぎ目が見える。
- ・ 右前膊の向きが現状と異なる。天衣の位置や向きもわずかに異なる。

以上の点が特記される。

なお、同報告書所収の亀田孜「Ⅱ彫刻部門」の報告では、肉身部の表面が当初は金泥仕上げであり、着衣部に金箔が押されていた可能性を示唆されている。また、験の部分（両目頭および両上験か）は矧ぎ足されているとの指摘があるほか、昭和50年代にはすでに足柄が後補のものとなっており、本像は江戸時代およびそれ以前の、少なくとも二度の修理を経ているとの所見が示される。

9 伝来

- ・ 阿弥陀寺観音堂の本尊として、堂内の壇上に安置される。同堂は現在、仙台三十三観音第十五番札所となっている。
- ・ 仙台三十三観音札所に関する江戸時代の資料によると、阿弥陀寺の正観音像には春日作との伝えがある。また阿弥陀寺付近には窪地のような場所があり、影沼または影海と呼ばれた。この窪地に海のような波が映ることがあったといい、『封内風土記』では、影沼の波上に観音の影が浮かんだことから、阿弥陀寺の観音が影沼観音と呼ばれたと伝えられる。

10 参考資料（阿弥陀寺観音・影沼に関するもの）

- ①『残月台本荒萩』（江戸時代中期〔安永年間か〕、『仙臺叢書』第1巻所収）

（巻之三）

一 懸沼

新寺小路中程に高さ地形の所有り。此所より天気未明に東を見れば、海上天に移りて見ゆ。今地をけづりたれば見えず。

（巻之四）

一拾七番同所正観音。春日の作。別当時宗法王山阿弥陀寺。

- ②『封内風土記』（明和9年〔1772年〕、『仙臺叢書』所収）

八塚阿弥陀寺中 本尊正観音 春日作。不詳何時創建。

伝云、昔此辺地卑、東海潮湛如湖、観音浮影於波上。故今称之曰影沼観音。

仙臺巡礼三十三處第十五番札所也。一説為第十七番。

③『囊塵埃捨録』（江戸時代中期、『仙臺叢書』第7巻所収）

影沼 遍照寺の北裏なり 影海とも云り（中略）窪き所へ晴天の時は海上移て浪の如くに見えたるよし古老の話もあり。今は海上不変となし。方三間はかり常に水湛てあり。

(2) 仙岳院 木造菩薩立像

1 名称 木造菩薩立像

2 員数 1 軀

3 所在 仙台市青葉区東照宮 仙岳院 瑠璃殿

4 像容

垂髻を結び、上下に元結紐をあらわす。天冠台は紐2条・列弁の上に八方の花弁をあらわす（正面の意匠は不明瞭）。天冠台より下の地髪部は、前面で髪束を表して一部に毛筋彫りを施し、背面および天冠台より上を平彫りとする。白毫相をあらわす。耳朶環状・不貫。三道相をあらわす。上半身に条帛・天衣を着け、首回りで天衣を一段折り返す。下半身には裙および腰布を着け、裙上端を折り返す。（または、腰布を着けず裙上端を二段に折り返す。）裙の左右両側に括れを表す。右手は屈臂して腹前へ挙げ、第2・3・5指を延べて第1・4指を捻じる。左手は屈臂して腹前で前方へ向け、5指を曲げて未開敷蓮華（後補）の茎を握る。腰を右へ捻り、左膝をゆるめ、左足の踵を上げて立つ。

5 法量（単位：c m）

<本体>

像高84.9 髪際高73.3 頂-顎（顎括りマデ）20.6 面長（垂直）8.2 面幅（水平）8.4 耳張10.6
面奥12.0 臂張24.9 腋下幅14.0 胸奥（左）11.8（右）11.8 腹奥（着衣含）12.2 裙裾張17.0
足先開（外）13.5（内）7.2

足柄（右）前幅1.5 後幅1.5 奥3.2 出3.8（左）前幅1.5 後幅1.5 奥3.1 出3.8

<台座>

框座 総高29.7 張49.5 奥50.0

蓮華座 高12.6 蓮肉直径26.2 蓮弁幅32.0

<光背>

高101.5 幅48.5 奥9.0

柄幅6.0 奥2.0 出4.5

6 品質構造

木造・割り矧ぎ造り・漆箔（現状）。玉眼を嵌入し、瞳を赤系色で縁取る。頭体幹部は木心を後方に外した針葉樹の一枚材から彫出し、耳後ろを通る線で前後に割り矧ぐ。割首の有無は不明。面部を割り矧ぎまたは別材矧ぎとする。像底に角型の雇柄2本を挿し、柄の周囲及び割り矧ぎの接合面に、木屑をボンドで固めたとみられる木屎状の充填物がある。

像表面は現状後補とみられる漆箔で全身が覆われるが、像底は素地を呈し、像底の一部に当初とみられる布貼り錆下地黒漆塗の層が残存する。黒漆の上に金箔は確認できない。口唇には金箔の上から赤系色で彩色を施す。

7 保存状態

像本体では、玉眼・右肩先・左臂先・両足先（右足先二材矧）・足先にはさまれた裙裾部・像底の角柄・像表面の漆箔、以上後補。光背・台座各後補。持物と天衣垂下部を亡失する。像表面の漆箔層により彫

刻の細部が判別しづらくなっており、また天冠台や両眼の瞼等でも彫刻面が明瞭でなくなっているものの、面部材は当初のものである可能性がある。

8 備考

像底で中央部を浅く^く割り、削られた面にのみ当初の表面仕上げが残存している。像を立てるための柄に関わる処置と考えられ、造像当初はこの位置に造り出された柄、あるいは雇柄によって像を支持していたと考えられる。

9 伝来

- ・仙岳院瑠璃殿内の壇上に安置される。
- ・近年購入した像という。購入年や購入元、以前の伝来、修理が施された時期など、いずれも不明である。
- ・本像について史料上に確認することはできない。

(3) 考察

阿弥陀寺像と仙岳院像は、両像とも過去に修理を経ており、両手先や玉眼など後補となっている箇所はあるものの、本体の大部分が当初の木材から構成され、頭髪や着衣、立ち姿といった基本的な造形については変更されていない。その上で、両像には法量・品質構造・像容・作風において顕著な近似や共通性が確認できる。

法量は前掲各所において近似を確認でき、品質構造では、頭体を通じて針葉樹一材を前後に割り矧ぎ、面部を割り矧ぎまたは別材矧ぎとして玉眼を嵌入とする構造と、像底に当初とみられる布貼り錆下地黒漆塗の表面仕上げが残る点が共通する。また像容においても、^{もとどり}髻や天冠台の形式、天衣が両肩を大きく覆って首回りで折り返す点、同じく天衣が体の前後を廻らずに体側へ向かう点、下半身に着ける裙（または腰布）の折り返し方、片足の踵を上げる立ち方などが共通する。像容では、腰の捻りと連動する膝の曲げ方・踵の上げ方、着衣の翻り方や衣文構成などが両像でちょうど左右対称となる。作風面では、やや平面的な面貌表現と耳の彫り方、胸部や腰部で顕著にみられる張りのある肉身部の表現、いくぶん硬質で身体に貼り付くような着衣の畳み方、さらには衣文の^{えもん}図式的な構成や平安時代の古像を参考としたような浅深を交えた衣文の彫り方など、多くの点で共通性がみられる。

以上の諸点から、両像は同一の作者ないしは工房による同時期の作であることは疑いない。その上で、左右対称の立ち姿であることから、当初は中尊像に対する両脇侍像のように、左右一对の像として制作されたと考えられる。天衣が体の前後を廻らない形式も、脇侍像によくみられるものである。なお、現状両像とも手先が後補となる手勢については、阿弥陀寺像の当初部が左臂を屈し右手を垂下していることから、仙岳院像では反対に右臂を屈して左手を垂下していたと推定される。

こうした特徴を持つ両像の制作年代について、特に品質構造と作風面から、鎌倉時代でも、14世紀までは降らない13世紀の作と考えられる。より詳しい年代についても、特に構造面での類例を調査することによって絞り込むことが可能になると考えるが、こちらは今後の課題である。

今回、両像が一对の像として制作されたことが明らかになったことにより、当初どの地域の、どういった寺社に伝来したか、一对であった像がなぜ個別に伝わったのか、また脇侍像であったとすれば中尊はどのような像であったかなど、更なる考察も可能となるが、これらの点について現段階で踏み込んで考えられるだけの材料は乏しい。少なくとも、史料上に阿弥陀寺像を確認できる江戸時代中期の段階においては、既に両像が離れ離れになっていたと考えられるものの、今後とも調査・検討が必要である。

〔参考文献〕

- ・『仙台市文化財調査報告書第57集 年報4 昭和57年度』（仙台市教育委員会、昭和58年〔1983年〕）
- ・『特別展図録 東日本大震災復興祈念 仙台市博物館開館50周年 仏のかたち 人のすがた 仙台ゆかりの仏像と肖像彫刻』（仙台市博物館、平成23年〔2011年〕）



阿弥陀寺像 正面



仙岳院像 正面



各像 頭部



阿弥陀寺像 左斜側面



仙岳院像 左斜側面



阿弥陀寺像 左側面



仙岳院像 左側面



阿弥陀寺像 右斜側面



仙岳院像 右斜側面



阿弥陀寺像 右側面



仙岳院像 右側面

IV. 文化財の調査



阿弥陀寺像 背面



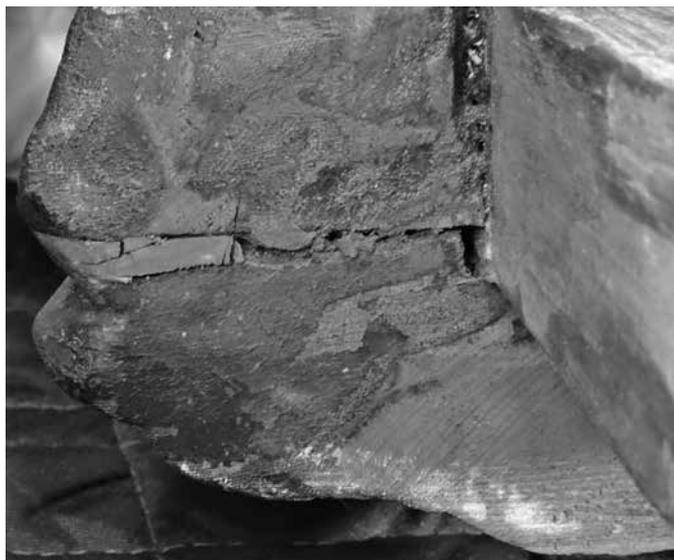
仙岳院像 背面



阿弥陀寺像 像底



仙岳院像 像底



阿弥陀寺像 像底（部分）



仙岳院像 像底（部分）



写真1



写真2



昭和50年代の阿弥陀寺像
（『仙台市文化財調査報告書第57集』51頁より）

2. 陸奥国分寺 准 胝観音堂

陸奥国分寺准胝観音堂（以下、准胝観音堂）は、陸奥国分寺境内に所在する小堂であり、仙台市登録有形文化財に登録されている。令和4年度に、業務委託により文化財的な価値を明らかにするための調査を行った。本文書は、株式会社伝統建築研究所が行った、当該調査の成果報告書を転載するものである。なお、掲載に当たり、書式を修正するとともに、ルビや西暦等の加筆、図面及び写真、添付資料等の一部割愛を行っている。

(1) 建物概要

1 概要

准胝観音堂は薬師堂の西南の位置に東面して建ち、現在は周辺の池跡に水や太鼓橋はないが、かつての木葉ヶ池（一名心字ヶ池）畔にあり、桜・紅葉・松等の樹木に囲まれた自然豊かな地にある。

建物は方二間(正面のみ三間)、方形造、本瓦葺である。正面扉は上半格子、下半は棧唐戸となっており、上部には伊達吉村公の謂によって元文2（1737）年丁巳7月17日に東都書家赤井文治郎が「准胝堂」と大書した扁額が掲げられる。

観音堂は旧陸奥国分寺十八伽藍の一つであったが、文治ノ乱に焼失した。その後、享保4（1719）年に伊達吉村夫人の貞子（長松院）の所願成就の報賽のために建てられた。石碑である准胝観音碑を覆うように建てられ、また、観音像を安置した。その後、延享2（1745）年に改築されたものが現在の観音堂である（建替えの理由は、堂の規模が小さかったためと小倉強は記しているが、根拠や痕跡は不明である）。

現在の准胝観音堂の床下には、石碑の根石を見る事ができる。内部からは須弥壇及び厨子があるため、石碑の大きさを確認することはできないが、『陸奥国分寺』（黒澤泰輔著）によれば「(前略) 同碑は安山岩の自然石で石台の上に安置され床下から床上に抜けて建っている。碑の高さは床上二尺五寸余、幅は二尺、碑の中央上部に胎蔵大日（アの梵字）、その下に「准胝観音」の四大文字が蓮座の上に、右には「延宝九年辛酉」、左に「三月三日」と刻まれている。」とある。

准胝観音堂の建つ敷地には芭蕉翁の句碑や江戸期に建てられた石碑なども多くあり、周辺の自然と共に、多くの市民に陸奥国分寺の歴史を伝える場所として親しまれている。

2 構造形式

桁行梁間共二間（14尺）、正面のみ三間、流れ向拝（7尺）、方形造、本瓦葺。軸部は円柱に台輪、頭貫、内法長押、切目長押、板壁。四方に縁を巡らす。中央に両開き棧唐戸、内側に引分け腰付ガラス戸、その左、右の間は連子窓、南面東側の内側に片引き板戸。軒は二軒繁垂木、平三斗。中備えに透かし鬘股。前面に向拝を付けるが、身舎との繋ぎの虹梁はない。向拝虹梁の袖は差肘木によって支える意匠となる。牡丹の厚肉彫刻の手挟。虹梁中央鬘股の内を同じく牡丹彫刻で充たす。室内は格天井張。外部は朱塗り、内部は素木である。

主 要 寸 法					
桁行梁間共	行梁間両端柱間芯々	2,121m	軒高	土台上端より茅負外下角	3,420m
向拝桁行	向拝柱間芯々	2,121m	棟高	土台上端より真東上部	6,325m
向拝奥行	向拝柱芯より側柱芯々	2,424m	平面積	向拝柱、側柱内側面積	23.13㎡
軒の出	側柱芯より茅負外下角	1,460m	軒面積	茅負下角内側面積	58.43㎡
			屋根面積	桁屋根先端内側面積	64.70㎡

(2) 調査内容

1 概要

調査メンバー：株式会社伝統建築研究所

調査日：令和5年2月20日 実測調査～平面・断面・小屋裏・痕跡

令和5年3月11日 石碑関係

その他、随時、史料などの調査・検討を行った。

2 外部塗装

平成25（2013）年の修理の際、既に施されていた外部塗装を調査し、向拝柱、側柱、切目長押、敷居、鴨居、内法長押に朱塗りを施した。その際、厚さ18mm程度のモルタルで塗り増し後に朱塗り、その他は朱塗りのみを施している（朱塗りは合成樹脂塗料）。

3 小屋組

[形式]

丸桁上中央筋南北に梁を架け、これと直交する梁が上に架かっている。中央梁上に蕪束かぶらづかを立て、化粧隅木が四方差し、小屋束つかを隅木、桔木はねぎに束立ち、束上に母屋を受ける。

[痕跡]

蕪束下部に割れ止めの金物が巻いてあった。また、昭和59（1984）年の修理と考えられる鉄骨材での桔木補強、梁や桔木は垂下防止のため化粧隅木等に番線で繋がれていた。一部の小屋束のすみぎ、垂木掛、野垂木、野地板は前述の修理時に取り替えたと考えられる。その他、天井裏の丸桁内側に格縁こうぶちと思われる痕跡が見受けられた。

小屋裏内には昭和59年修理時の棟札と小屋束のツラに墨書が残されていた。

4 柱間装置

[痕跡]

側柱のうち、東面中央2本の内側に方立ほうだてが取り付いており建具が入る溝があった。敷居上端から約2尺上がった位置から鴨居までは溝がなく、約4.1尺、約5.7尺の位置に金物が取り付いていた。また、現在は付鴨居があるが、以前は長押と鴨居の間にすき間があったと思われる。

方立の痕跡から判断すると、正面の内部建具は柱の内々の蔀しとみとし、下部は落とし込み、その上は2枚分として上げていたようである。方立に残る金物は、上の蔀を止めるためのものと思われる。

なお、外部の棧唐戸は昭和58年の『宮城の近世社寺』調査時「棧唐戸（現在欠落）」とあり、昭和59年の修理の際に再度取り付けられたと考えられる。また、現在の内部引戸は平成25年修理時に取り付けられた。

5 厨子、石碑

[厨子]

西面に禅宗様須弥壇があり、入母屋造、板葺の厨子を置く。厨子は円柱に台輪、頭貫、地長押、板壁つまがざりで、中央に棧唐戸を吊る。軒は二軒、繁垂木、出組で軒支輪のきしりんを具える。中備えに墓股、妻飾は虹梁、大瓶束たい。墓股や拳鼻等の意匠が准胝観音堂と異なっており、同時期のものではないと思われる。また、須弥壇の意匠は上部の厨子に比較し簡素なものであることから、近代に作られた可能性もある。現時点で須弥壇、厨子の明確な製作時期については不明である。

昭和7年9月に発行された『仙臺郷土研究』に小倉強が寄稿した「木の下國分寺准胝観音堂調査記」によれば、「厨子は須弥壇に比べて甚粗造はなはだそぞうで、所々破損したり、漆が剥げたりしている」とある。掲載された写真では正面扉が見当たらず、石碑が見える状態になっている。その後、平成25年の漆塗修理まで明確な履歴はないが、正面扉も復旧されている。

IV. 文化財の調査

[准胝観音碑]

堂内の厨子の中に延宝9（1681）年3月3日の准胝観音碑が蔵されている。石碑の大きさは前述の小倉氏の記載から高さ2尺4寸5分（74cm）、幅2尺2寸（67cm）であることが分かり、厨子の床面から下部は、高さ1.5mほどが根石ら数石で組まれているようである。

石碑は中央に梵字と「准胝観音」、左に「延寶九辛酉」、右に「三月三日」と刻まれている。

(3) 資料調査

1 石碑

准胝観音堂の西側に石碑が立ち並んでおり、その多くが江戸期に彫られたものである。前述の小倉強の昭和7年の記述に、延宝9年に十八神仏の石碑を立てたとされることから周辺を探索したとある。その際、「山王」「貴布禰大明神」「諏訪大明神」「八幡大菩薩」「法領権現」の5つを発見したとある。現在、見られる石碑の多くは「南無阿弥陀仏」だが、「山王」「貴布禰大明神」「阿弥陀如来」が延宝9年の石碑であり、これら3石は准胝観音碑と同時期に立てられたものと考えられる。

2 句碑

天明2（1782）年に立てられた芭蕉翁の句碑（仙台市指定文化財）、延享2年に立てられた望月宋屋の句碑、及び享保7（1722）年に立てられた大淀三千風供養碑（仙台市指定文化財）がある。

(4) 考察

1 修理経過と建物の変遷

現在の准胝観音堂は棟札から延享2年の建立とあり、建物の細部意匠などからも矛盾はない。また、建立後、度々の修理を経ているが、二間角（正面三間）の方形造で流れ向拝が付く形式に大きな変化はなく、屋根葺材と正面建具の変更が主なものである。

今回、小屋裏で確認された束の墨書や、昭和期の修理棟札等も含め、既知の資料との突合せを行い、建物の修理経過を整理し、変遷をまとめた表が「表1.観音堂の建物に関する記録年表」である。

既知の資料としては、小倉強が執筆している「木の下國分寺准胝観音堂調査記」（『仙臺郷土研究』第2巻第9号）、黒澤泰輔著の『陸奥国分寺』、『宮城県の近世社寺建築－近世社寺建築緊急調査報告書』と、近世期の絵図類を取り上げている。

①現在の准胝観音堂の修理経過

延享2年の建立以降、確認できた修理は1回目・明治34年（もしくは35年）、2回目・大正3年、3回目・昭和59年、4回目・平成25年の4回である。各々の間隔は156年、13年、70年、29年となるため、建立当初から明治までの間には、記録は確認できなかったが何らかの修理を行っている可能性はある。

また、修理内容が明確なものは少なく、4回目に行われた柱・内法材の外周部に塗装下地を施した上で行った塗装工事のみである。しかし、痕跡や修理前後の資料の突合せから以下の事が推察できる。

- ・1回目は記録を小屋裏に行っていることから、小屋裏の修理を伴う屋根替えの可能性はある。建立から156年が経過していることから、小屋材まで傷んでいた可能性があり、瓦の取り替えを行ったことも考えられる。
- ・2回目は、1回目の墨書脇に添書きのように書かれていることから、大きな修理ではなかった可能性がある。ただ、小屋裏がらみの修理であった可能性も考えられる。
- ・3回目は前年に発行された『宮城県の近世社寺建築』で准胝観音堂が鉄板葺であると確認でき、第4回目では屋根工事を行っていないことから、屋根を鉄板葺から本瓦葺に変更した修理と考えられる。

また、補強で配された鉄骨も、屋根荷重が増えることから施されたものと考えられる。

②建物の変遷

准胝観音堂の建設の経緯は、延宝9年3月3日に十八神仏の名を勒して石碑が立てられ、その中の一つの石碑を覆うように享保4年に最初の観音堂が建立され、その26年後の延享2年に現准胝観音堂が建てられたと言われている。

これまで享保4年に最初の観音堂が建てられたとされるが、『宮城県の近世社寺建築』でも指摘されているが、貞享4（1687）年から仙台藩で使用したとされる宮城県図書館蔵の『御修覆帳』には、すでに二間四方の准胝観音堂が描かれている。つまり、准胝観音碑の建立の6年後には観音堂があった可能性がある。この『御修覆帳』の作成年代については奥付の年紀によるが、この記録は仙台藩の藩営普請・作事に関わる建物の基礎的資料として使用されていた役割を持つことから、使用期間内に付記された可能性もあるため、「国分寺准胝観音縁起」に記されずに観音堂が建てられたとも考えられず、これ以上の言及はできない。

延享2年に准胝観音堂が建立されて以降、「奥州名所図会 初編卷之一」（文政12年・1829以前）や所々神社絵図に描かれた様子は、現在の建物とその周辺の様子に概ね差異は認められない。

屋根葺材は前述した修理経過により、当初は瓦葺（当初は本瓦葺であり、その後、棧瓦葺となった可能性もあるが、明確ではない）であり、その後鉄板葺に変わり、昭和59年に本瓦葺に復原された。

また、正面建具については、外部は棧唐戸・内部には蔀戸であったが、昭和58年に発行された『宮城県の近世社寺建築』には、正面扉の棧唐戸が欠落しているとあり、内部には蔀戸のみ存在していたと思われる。現在の棧唐戸は昭和59年の大修理のものと思われる。そして蔀戸が取り外された時期は不明であるが、現在の内部引き戸は平成25年の際に取り付けられた。

2 文化財的価値

准胝観音は伊達吉村公正室、貞子（後の長松院）に代表されるように、古くから多くの女性に信仰されており、観音堂の建立も長松院の深い信仰に所以するものである。薬師堂・白山神社と共に名所絵図に描かれ、現在に至るまで多くの人々に参詣される場所として位置づけられてきた。また、石碑を覆うようにして厨子を置き、それを覆う観音堂が建つという特別な場所であるという特徴がある。

その上、准胝観音堂の周りに芭蕉翁、望月宋屋の句碑、大淀三千風供養碑が立ち、周辺の起伏ある敷地と多くの樹木がある風景は、名勝「おくのほそ道の風景地」を感じる事ができる場として価値がある。

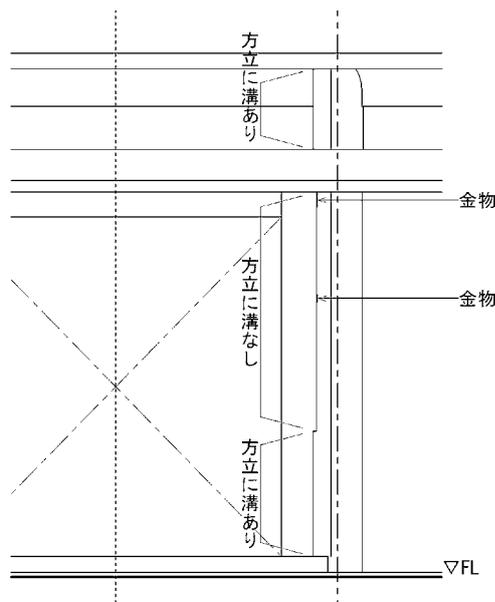
建物は「国分寺准胝観音縁起」や棟札などから由緒が明確であり、近年に至るまで、度々の修理によって良好な状態を保っている。屋根葺材や野地板の変更はあるが、主要な構成材は当初のものと判断される。薬師堂や仁王門、鐘楼堂よりは建立年が降るものの、向拝部や墓股の意匠は古式で、軒の出や反りのバランスも優れており、小規模な建物ではあるが、江戸中期の意匠を今に伝える建築である。

〔参考文献〕

- ①『仙台郷土研究 第二巻 第九號』（末永勇四郎、無一文館書店、1932）
- ②『陸奥国分寺』（陸奥国分寺の研究）（内藤政恒、松本源吉/共著、1937）
- ③「重要文化財 陸奥国分寺薬師堂興隆協賛会趣意書」（1944）
- ④『仙臺市史6 別編4』（仙臺市史編纂委員会、仙臺市役所、凸版印刷仙臺工場、1952）
- ⑤『仙臺市史7 別編5』（仙臺市史編纂委員会、仙臺市役所、凸版印刷仙臺工場、1953）
- ⑥『陸奥国分寺』（黒沢泰輔、国分寺、丹野印刷、1963）
- ⑦『宮城県寺院大総覧』（大場貞一著、鈴木孫八、東北総合出版社内、1975）

IV. 文化財の調査

- ⑧『宮城県史蹟名勝天然記念物』（宮城県史蹟名勝天然記念物調査会編、国書刊行会、1982）
- ⑨宮城県文化財調査報告書第98集『宮城県の近世社寺建築－近世社寺建築緊急調査報告書』（宮城県教育委員会、1983）
- ⑩「仙台藩における「御修覆帳」制について（その1）「御修覆帳」年代考」（阿部和彦・日本建築学会東北支部研究発表会、1986）
- ⑪「仙台藩における「御修覆帳」制について（その2）「御修覆帳」の史料的性格」（阿部和彦・日本建築学会東北支部研究発表会、1986）
- ⑫『宮城縣史復刻版12（學問宗教）』（宮城縣著、財団法人宮城縣史刊行会、1987）
- ⑬『宮城縣史復刻版28（資料篇6）』（宮城縣著、財団法人宮城縣史刊行会、1987）
- ⑭『近世城下町の経営と計画に関する研究』（阿部和彦著、笹氣出版印刷、1994）
- ⑮『宮城県指定有形文化財 陸奥国分寺薬師堂仁王門修復工事報告書』（佐藤巧・古建築研究会、宗教法人国分寺、東北プリント、2007）
- ⑯『特別展図録 東日本大震災復興祈念 仙台市博物館開館50周年 仏のかたち 人のすがた 仙台ゆかりの仏像と肖像彫刻』（仙台市博物館、今野印刷、2011）
- ⑰『日本名所風俗図会1 奥州・北陸の巻』角川書店
- ⑱平成十五・十六・十七年度科学研究費補助金 基盤研究(A)(1)研究成果報告書『奥州仏教文化圏に遺る宗教彫像の基礎的調査研究』（研究代表者有賀祥隆、2006）
- ⑲『御修復帳』
- ⑳『仙臺所々神社繪図四折 神社繪図』
- ㉑『重要文化財 陸奥国分寺薬師堂興隆協賛会趣意書』昭和29年
- ㉒『名勝「おくのほそ道の風景地」（木の下及び薬師堂）整備事業 陸奥国分寺鐘楼堂修理工事報告書』（宗教法人陸奥国分寺、2022）



准胝観音堂 東面中央柱間痕跡図

奉修繕準胝堂一字院内信徒安全攸 松浦寛心□
 大正三年八月□修繕

明治三十五年十月

【小屋裏梁上束墨書】

□奉修準胝観音堂大改修工事並善男善女現吉安穩祈願攸
 施工 名古屋市中村建設株式会社名古屋支店

権大僧正村山祐俊代

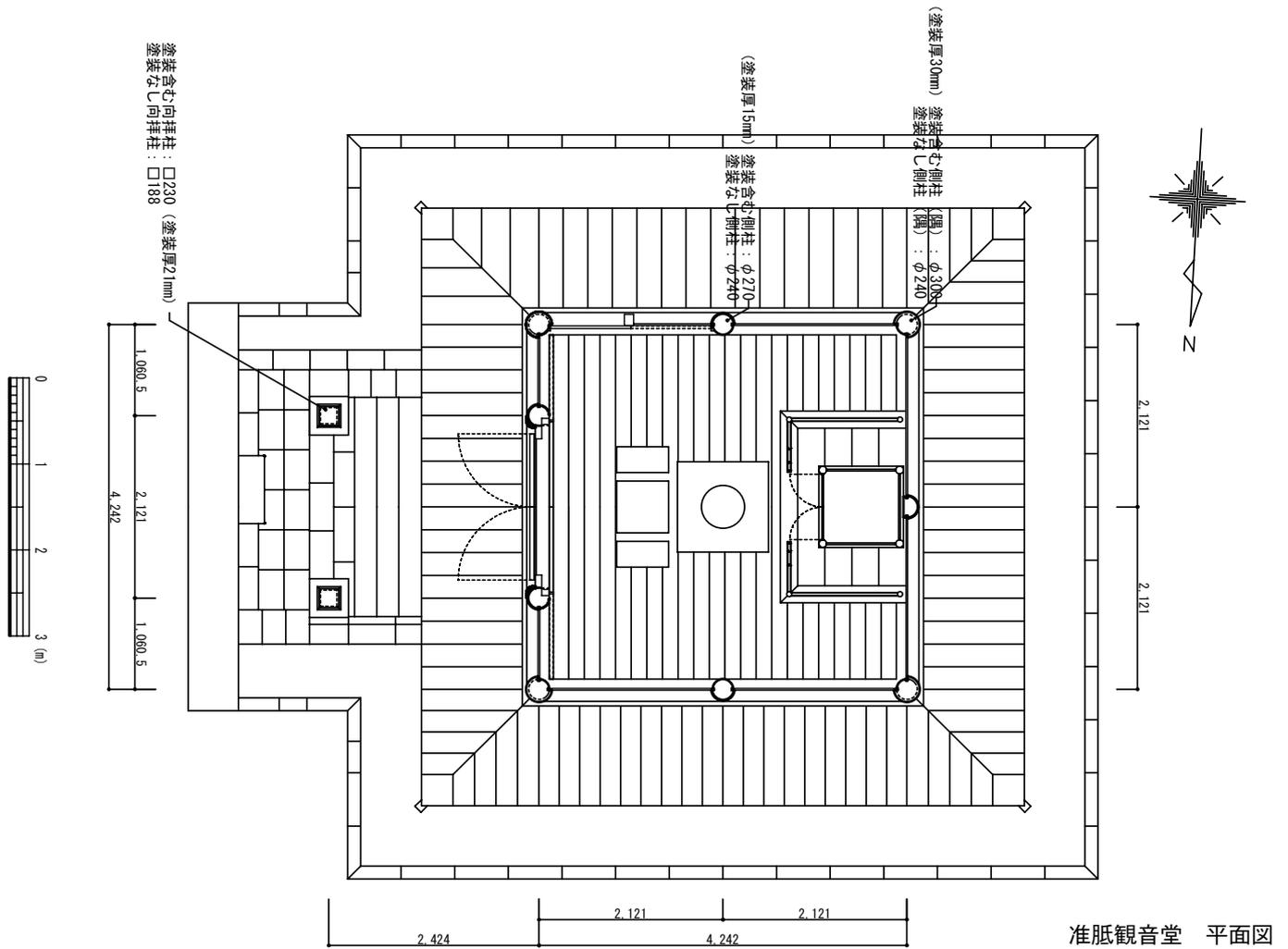
昭和五十九年八月吉日 陸奥國分寺第一三七世

【小屋裏棟札】

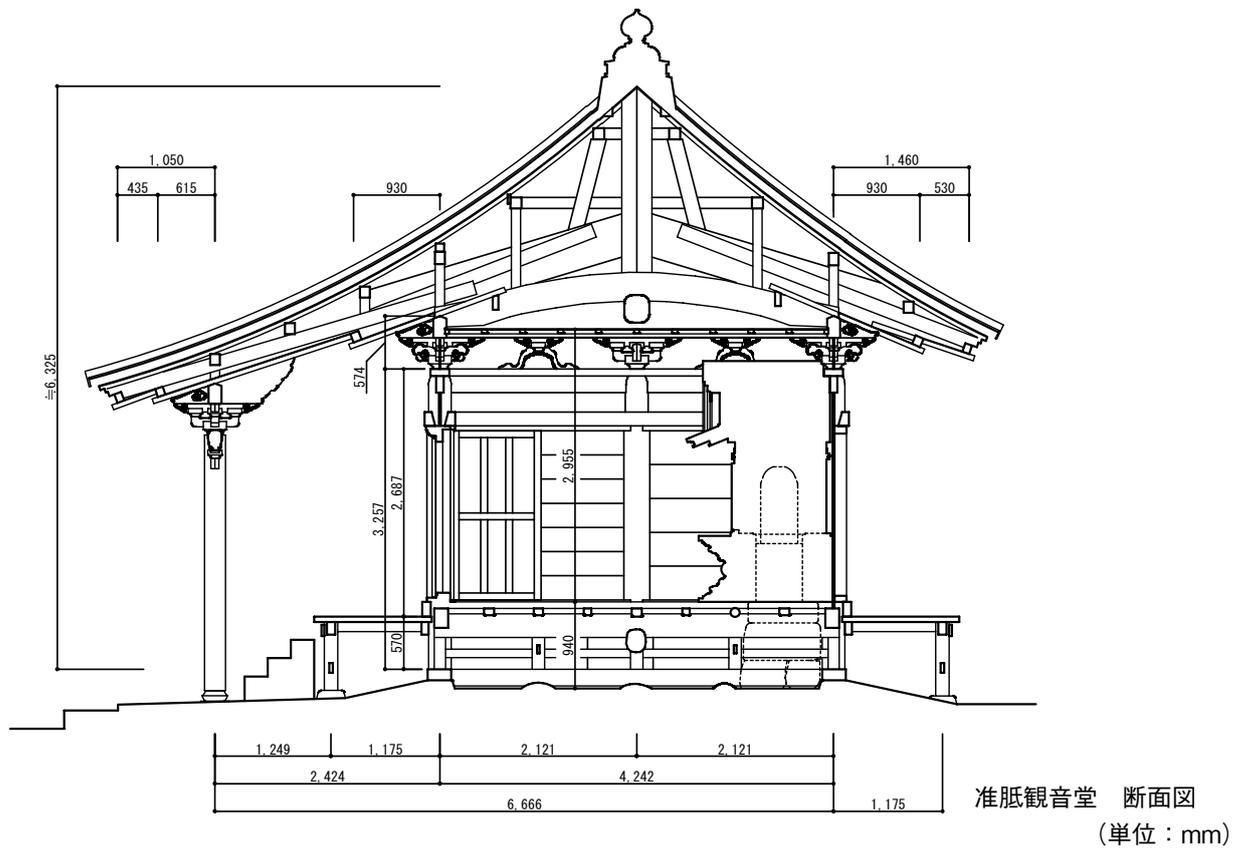
表1. 准胝観音堂の建物に関する記録年表

西暦	和暦	関連事項	屋根材	出典
1681	延宝9年 3月3日	「国分寺准胝観音縁起」(陸奥国分寺蔵)より准胝観音の石碑を立てる。(十八神仏の名を勒して立てた中の一つ)		①、⑥
1687 ～1861	貞享4年 ～文久元年まで 使用された資料	『御修覆帳』(宮城県図書館蔵)に2間角(正面3間)、向拝付で「準胝観音」として描かれる。「貳間四方瓦葺」とある。心字池に太鼓橋も描かれる。	瓦葺	⑩、⑪、⑲
1719	享保4年	「国分寺准胝観音縁起」より、伊達吉村夫人の所願成就の報賽のため、観音堂を建立。		①、⑥
～1737	～元文2年	『仙臺所々神社繪図四折神社繪図』に四角い箱書として描かれ「准胝観音」とある。心字池に太鼓橋もある。		⑳
1745	延享2年	「木下国分寺准胝観音堂棟札」により建立されたことが分かる。また、観音堂内にこの年の祇禱札があったとある。		①、⑥
～1829	～文政12年	「奥州名所図会 初編卷之一」(宮城県図書館蔵)に2間四方(正面3間)、向拝付、方形造、瓦葺の御堂が描かれている。心字池、太鼓橋があり、人々が参詣している姿も描かれている。周囲は杉小立で囲まれる。	瓦葺	⑰
1901	明治34年	堂内に修繕の祈禱札が有。		①
1914	大正3年	小屋束に「修繕」の墨書。		
1932	昭和7年	厨子と石碑の写真あり。厨子には扉がない。延宝9年にたてたとされる十八神仏の石を探し、5石を発見した。		①
1937	昭和12年	杉小立の中に建つ准胝観音堂の写真があり、屋根部分は瓦葺の縦線が見られる(本瓦か棧瓦かは不明)。		⑥
1954	昭和29年	薬師堂の修理計画に、第3期として準胝観音堂修理に50万円を計画している。		㉑
1983	昭和58年	掲載された写真は鉄板葺であり、説明文に「鉄板葺(もと瓦葺)」とある。また、「中央に棧唐戸(現在欠落)」ともある。延享2年以前に作成されたとする『御修覆帳』に観音堂が描かれていることから、延享の再興は全くの新築ではなく、旧態をある程度保存しながらの改築ではないか、と指摘している。	鉄板葺	⑨、⑲
1984	昭和59年	大改修の棟札が小屋裏に納められている。本瓦に変更したか。	本瓦葺	
2013	平成25年	外部塗装工事を行っており、その際に柱、内法材の外部に面した範囲に下地をつけた。		

IV. 文化財の調査



准胝観音堂 平面図



准胝観音堂 断面図

(単位 : mm)



准胝観音堂 外観東面



准胝観音堂 外観北西面



准胝観音堂 宝珠



准胝観音堂西側の石碑群



准胝観音堂 向拝絵様



准胝観音堂 向拝絵様木鼻



准胝観音堂 向拝絵様手挟み



准胝観音堂 身舎絵様

V. 指定文化財及び登録文化財一覧

(1) 国指定文化財						令和5年4月1日現在
番号	名 称	員数	所在地	所有者(管理者)	指定年月日	
有形文化財／建造物						
1	国宝 大崎八幡宮本殿・石の間・拝殿 附 棟札1枚	1棟	青葉区八幡四丁目6-1	大崎八幡宮	M36.4.15	
2	大崎八幡宮長床	1棟	青葉区八幡四丁目6-1	大崎八幡宮	S41.6.11	
3	陸奥国分寺薬師堂 附 厨子1基・棟札1枚	1棟	若林区木ノ下三丁目8-1	陸奥国分寺	M36.4.15	
4	東照宮本殿・唐門・透塀・鳥居・隨身門 附 厨子1基・棟札1枚・石灯籠34基	5棟	青葉区東照宮一丁目6-1	東照宮	S28.3.31	
5	東北学院旧宣教師館	1棟	青葉区土樋一丁目6	学校法人東北学院	H28.7.25	
有形文化財／彫刻						
6	木造釈迦如来立像	1躯	青葉区八幡四丁目8-32	龍宝寺	M36.4.15	
有形文化財／工芸品						
7	太刀	1口	青葉区川内亀岡町62	亀岡八幡宮	T3.4.17	
8	小紋染胴服	1領	青葉区川内26	仙台市(博物館)	S53.6.15	
9	黒漆五枚胴具足 兜・小具足付(伊達政宗所用) 附 黒羅紗地裾緋羅紗山形文陣羽織 1領 旗 1旒	1領	青葉区川内26	仙台市(博物館)	S54.6.6	
10	銀伊予札白糸威胴丸具足 兜・小具足付 附 兜巾1頭・頭巾1頭・団扇3握・軍扇2握	1領	青葉区川内26	仙台市(博物館)	S54.6.6	
11	帯(三沢初子所用) 附 総鹿子裂2枚入日記(正徳2年4月) 1通	12条	青葉区川内26	仙台市(博物館)	H3.6.21	
有形文化財／書跡						
12	国宝 類聚国史 卷第二十五	1巻	青葉区川内27-1	東北大学	S27.11.22	
13	国宝 史記(孝文本紀 第十)	1巻	青葉区川内27-1	東北大学	S27.11.22	
14	塵芥集	1冊	青葉区川内26	仙台市(博物館)	H15.5.29	
有形文化財／古文書						
15	伊達家文書(千四十六通)	26巻,21冊, 20幅,953通, 1巻,2綴,2枚	青葉区川内26	仙台市(博物館)	R2.9.30	
16	伊達家印章 附 印譜(44通)	127顆	青葉区川内26	仙台市(博物館)	R2.9.30	
有形文化財／考古資料						
17	埴輪甲 埴輪家残闕 埴輪円筒	2箇 1箇 1箇	青葉区片平二丁目1-1	東北大学	S34.6.27	
18	陸前沼津貝塚出土品	一括	青葉区片平二丁目1-1	東北大学	S38.7.1	
有形文化財／歴史資料						
19	国宝 慶長遣欧使節関係資料	一括	青葉区川内26	仙台市(博物館)	H13.6.22	
20	坤輿万国全図(版本) 附 坤輿万国全図(着色)	6幅	泉区紫山一丁目1-1	宮城県(図書館)	H2.6.29	
21	仙台藩天文学器機	4基	青葉区錦ヶ丘九丁目29-32	仙台市(天文台)	H24.9.6	
22	陸奥国仙台領元禄国絵図関係資料	265点	泉区紫山一丁目1-1	宮城県(図書館)	H29.9.15	
無形文化財						
23	精好仙台平		太白区根岸15-5	甲田綏郎	H14.7.8	
無形民俗文化財						
24	秋保の田植踊		太白区秋保町湯元	湯元田植踊保存会	S51.5.4	
			太白区秋保町長袋	長袋の田植踊保存会	S51.5.4	
			太白区秋保町馬場	馬場の田植踊保存会	S51.5.4	
記念物／史跡						
25	陸奥国分寺跡		若林区木ノ下二丁目, 三丁目	仙台市	T11.10.12	
26	陸奥国分尼寺跡		若林区白萩町	仙台市	S23.12.18	
27	林子平墓		青葉区子平町19-5	仙台市	S17.7.21	

番号	名 称	員数	所在地	所有者(管理者)	指定年月日
28	遠見塚古墳		若林区遠見塚一丁目ほか	仙台市	S43.11.8
29	岩切城跡		宮城野区岩切字入山ほか	仙台市・利府町	S57.8.23
30	仙台北城跡		青葉区荒巻字青葉無番地ほか	国・東北大学・仙台市	H15.8.27
31	仙台北郡山官衙遺跡群 郡山官衙遺跡 郡山廃寺跡		太白区郡山二丁目, 三丁目, 五丁目, 六丁目	国・仙台市ほか	H18.7.28
記念物/名勝					
32	秋保大滝		太白区秋保町馬場字大滝地内	仙台市ほか	S17.3.7
33	磐司		太白区秋保町馬場字岳山地内	国(仙台森林管理署)・仙台市	S20.2.22
34	おくのほそ道の風景地		宮城野区五輪一丁目ほか, 若林区木ノ下二丁目ほか	国・県・仙台市ほか(仙台市)	H27.3.10
記念物/特別天然記念物					
35	カモシカ		地域を定めず指定したもの		S30.2.15
記念物/天然記念物					
36	苦竹のイチョウ		宮城野区銀杏町	個人(仙台市)	T15.10.20
37	朝鮮ウメ		若林区古城二丁目	国(宮城刑務所)	S17.9.19
38	青葉山		青葉区荒巻字青葉12番地の内	東北大学	S47.7.11
39	姉滝		太白区秋保町馬場字岳山	国(仙台森林管理署)	S9.8.9
40	東昌寺のマルミガヤ		青葉区青葉町8-1	東昌寺	H7.3.20
(2) 県指定文化財					
有形文化財/建造物					
1	白山神社本殿	1棟	若林区木ノ下三丁目9-1	白山神社	S30.3.25
2	諏訪神社本殿 附 棟札12枚	1棟	青葉区上愛子字宮下40	諏訪神社	S38.7.2
3	東照宮手水舎 附 花崗岩造水盤	1棟	青葉区東照宮一丁目6-1	東照宮	S39.9.4
4	賀茂神社本殿 附 棟札2枚	2棟	泉区古内字糺1	賀茂神社	S39.9.4
5	落合観音堂 附 棟札1枚	1棟	太白区四郎丸字落合60	光西寺(落合観音堂奉賛会)	S44.8.29
6	大崎八幡宮石鳥居	1基	青葉区八幡四丁目6-1	大崎八幡宮	S45.10.30
7	亀岡八幡宮石鳥居 附 鳥居額	1基	青葉区川内亀岡町62	亀岡八幡宮	S45.10.30
8	宮城県知事公館正門(旧仙台北城門)	1棟	青葉区広瀬町5-43	宮城県	S46.11.9
9	陸奥国分寺薬師堂仁王門	1棟	若林区木ノ下三丁目8-1	陸奥国分寺	S50.4.30
10	旧仙台北城板倉	1棟	宮城野区岩切	個人	S53.5.2
11	旧歩兵第四連隊兵舎	1棟	宮城野区五輪一丁目301番3	仙台市	R5.3.24
有形文化財/絵画					
12	松島五大堂図	1点	青葉区川内元支倉34-1	宮城県(美術館)	S48.1.16
13	松島図	1点	青葉区川内元支倉34-1	宮城県(美術館)	S48.1.16
14	宮城県庁門前図	1点	青葉区川内元支倉34-1	宮城県(美術館)	S48.1.16
15	清海曼荼羅図 附 浄土清海曼荼羅略記袋中著	1幅	若林区新寺三丁目10-12	成覚寺	S49.4.30
16	仙台北城本丸大広間障壁画扇面図	2双	青葉区川内26	仙台市(博物館)	H5.12.24
有形文化財/彫刻					
17	木造十二神将立像	12躯	若林区木ノ下二丁目8-28	陸奥国分寺	S34.8.31
18	木造阿弥陀如来立像	1躯	泉区福岡	個人	S40.5.18
19	木造聖観音像	1躯	若林区新寺三丁目10-12	成覚寺	S49.4.30
20	木造不動明王立像	1躯	若林区木ノ下二丁目8-28	陸奥国分寺	S50.4.30
21	木造毘沙門天立像	1躯	若林区木ノ下二丁目8-28	陸奥国分寺	S50.4.30
22	木造阿弥陀如来立像	1躯	若林区新寺三丁目5-3	阿弥陀寺	S55.5.30
23	木造菩薩立像	1躯	太白区長町一丁目7-34	十八夜観世音堂保存会	H28.2.3
有形文化財/工芸品					
24	薙刀	1口	青葉区川内26	仙台市(博物館)	S34.8.31
25	太刀	1口	太白区桜木町	個人	S34.8.31
26	刀	1口	太白区根岸町	個人	S34.8.31
27	刀	1口	青葉区中山	個人	S34.8.31
28	刀	1口	太白区桜木町	個人	S34.8.31

V. 指定文化財及び登録文化財一覧

番号	名称	員数	所在地	所有者(管理者)	指定年月日
29	短刀	1口	太白区根岸町	個人	S34.8.31
30	銅鐘	1口	泉区山の寺二丁目3-1	洞雲寺	S37.6.28
31	銅鐘	1口	青葉区霊屋下23-5	瑞鳳寺	S37.6.28
有形文化財／書跡					
32	観文禽譜(稿本) 禽譜(稿本)	12冊 11帖・3巻	泉区紫山一丁目1-1	宮城県(図書館)	H15.1.31
33	魚蟲譜(写本)	7巻	泉区紫山一丁目1-1	宮城県(図書館)	H15.1.31
34	關算四傳書(写本)	507冊	泉区紫山一丁目1-1	宮城県(図書館)	H15.1.31
35	貞観政要(伏見版)	8冊	泉区紫山一丁目1-1	宮城県(図書館)	H15.1.31
36	光悦謡本一百番(特製本)	99冊	泉区紫山一丁目1-1	宮城県(図書館)	H15.1.31
37	生計纂要(稿本)	88冊	泉区紫山一丁目1-1	宮城県(図書館)	H15.1.31
38	三航蝦夷日誌(稿本)	35冊	泉区紫山一丁目1-1	宮城県(図書館)	H15.1.31
39	北海道風土記(稿本) 附 北海道風土記(草稿) 6冊 附 琉球新誌 1冊 附図 1枚 附 小笠原島新誌 1冊 附図 1枚	27冊, 附図10枚	泉区紫山一丁目1-1	宮城県(図書館)	H15.1.31
40	言海(稿本)	32冊	泉区紫山一丁目1-1	宮城県(図書館)	H15.1.31
41	皇国地誌	26冊, 附図495鋪	泉区紫山一丁目1-1	宮城県(図書館)	H15.7.1
42	朝鮮古刊本	46部262冊	泉区紫山一丁目1-1	宮城県(図書館)	H16.6.29
43	環海異聞(写本)	16冊	泉区紫山一丁目1-1	宮城県(図書館)	H17.7.26
44	金城秘韞(写本)	2冊	泉区紫山一丁目1-1	宮城県(図書館)	H17.7.26
45	英文翻訳彼理日本紀行(稿本)	10冊	泉区紫山一丁目1-1	宮城県(図書館)	H17.7.26
46	奥州名所図会(自筆稿本)	4冊	泉区紫山一丁目1-1	宮城県(図書館)	H17.7.26
47	熟語本位英和大辞典(自筆原稿)	1本	泉区紫山一丁目1-1	宮城県(図書館)	H17.7.26
48	宮城県漁具図解及び略解	2帖	泉区紫山一丁目1-1	宮城県(図書館)	H19.2.16
49	奥羽観蹟聞老志	20冊	泉区紫山一丁目1-1	宮城県(図書館)	H19.10.26
50	風土記御用書出	66冊	泉区紫山一丁目1-1	宮城県(図書館)	H19.10.26
有形文化財／考古資料					
51	皮袋形土器／上ノ原遺跡出土	1箇	太白区秋保町湯元字寺田原40-7	仙台市	H24.5.1
52	土偶／鍛冶沢遺跡出土	1箇	青葉区川内26	仙台市(博物館)	H24.5.1
53	野川遺跡出土品	729点	宮城野区高砂二丁目22-1	仙台市	H24.5.1
有形文化財／歴史資料					
54	仙台城下絵図	13鋪	泉区紫山一丁目1-1	宮城県(図書館)	H15.7.1
55	仙台城絵図	13鋪, 1帖, 1冊	泉区紫山一丁目1-1	宮城県(図書館)	H15.7.1
56	仙台別業・江戸屋敷等絵図	13鋪, 7枚, 2幅, 2冊	泉区紫山一丁目1-1	宮城県(図書館)	H15.7.1
57	城・要害・在郷屋敷絵図 附 関係文書1通	109鋪	泉区紫山一丁目1-1	宮城県(図書館)	H15.7.1
58	領内図	116鋪, 24枚, 4冊	泉区紫山一丁目1-1	宮城県(図書館)	H15.7.1
59	飛地領絵図 附 関係文書5件	18鋪	泉区紫山一丁目1-1	宮城県(図書館)	H15.7.1
60	蝦夷地関係絵図	14鋪, 16枚, 1冊	泉区紫山一丁目1-1	宮城県(図書館)	H15.7.1
61	境絵図	21鋪	泉区紫山一丁目1-1	宮城県(図書館)	H15.7.1
62	伊能図(中図)附 北極出地度里程測量3冊	5軸	泉区紫山一丁目1-1	宮城県(図書館)	H15.7.1
63	仙台祭絵関係資料	1帖, 1巻	泉区紫山一丁目1-1	宮城県(図書館)	H17.7.26
64	国絵図 正保年間奥州仙台領絵図(写)	1幅	青葉区川内26	仙台市(博物館)	H20.5.2
無形民俗文化財					
65	愛子の田植踊		青葉区下愛子	愛子の田植踊保存会	S35.4.23
66	大倉の役人田植踊		青葉区大倉	大倉役人田植踊保存会	S35.4.23
67	新川の田植踊		青葉区新川	新川の田植踊保存会	S35.4.23
68	芋沢の田植踊		青葉区芋沢	芋沢の田植踊保存会	S35.4.23
69	下倉の田植踊		青葉区大倉	下倉の田植踊保存会	S46.8.3

番号	名 称	員数	所在地	所有者(管理者)	指定年月日
70	大崎八幡宮の能神楽		青葉区八幡	大崎八幡宮能神楽保存会	S47.10.11
71	野口鹿踊		太白区秋保町馬場	野口鹿踊保存会	S47.10.11
72	川前鹿踊・川前剣舞		青葉区芋沢	川前の鹿踊剣舞保存会	S48.11.6
73	福岡の鹿踊・剣舞		泉区福岡	福岡の鹿踊・剣舞保存会	H3.8.30
74	滝原の顕拝		太白区秋保町馬場	滝原の顕拝保存会	H3.8.30
75	上谷刈の鹿踊・剣舞		泉区上谷刈	上谷刈の鹿踊・剣舞保存会	H11.10.29
76	大沢の田植踊		泉区七北田字大沢	大沢田植踊保存会	H27.2.24
天然記念物					
77	鶯倉神社の姥杉	1本	泉区福岡字小山19-2	鶯倉神社	H10.1.16
78	賀茂神社のイロハモミジ	2本	泉区古内字札1	賀茂神社	H11.7.2
79	賀茂神社のタラヨウ	1本	泉区古内字札1	賀茂神社	H11.7.2
(3) 市指定文化財					
有形文化財／建造物					
1	善応寺開山堂	1棟	宮城野区燕沢二丁目3-1	善応寺	S43.2.15
2	旧伊達邸	1棟	太白区茂庭字人來田西143-3	仙台市	S58.12.1
3	大年寺惣門	1棟	太白区茂ヶ崎4丁目	(仙台市)	S60.9.4
4	成覚寺山門(旧浄眼院殿霊屋門)	1棟	若林区新寺三丁目10-12	成覚寺	S61.12.20
5	莊嚴寺山門	1棟	青葉区新坂町12-1	莊嚴寺	S61.12.20
6	輪王寺山門	1棟	青葉区北山一丁目14-1	輪王寺	S61.12.20
7	大満寺虚空蔵堂 附 厨子1基	1棟	太白区向山四丁目17-1	大満寺	S62.3.30
8	大願寺山門(旧万寿院殿霊屋門)	1棟	青葉区新坂町7-1	大願寺	S62.3.30
9	泰心院山門(旧仙台藩藩校養賢堂正門)	1棟	若林区南鍛冶町100	泰心院	S62.3.30
10	宇那禰神社本殿 附 棟札5枚	1棟	青葉区芋沢字明神12	宇那禰神社	S47.12.27
11	臨濟院地内弁財天堂並びに堂地	1棟	青葉区臨濟院	個人	S62.9.11
12	小滝沢橋	1基	太白区秋保町馬場字駅	仙台市	S58.8.1
13	旧熊谷家住宅	1棟	泉区福岡字岳山9-5	仙台市	S61.4.1
14	旧石垣家住宅 附 土蔵(米蔵)1棟	1棟	青葉区大倉字若林14-2	仙台市	H6.3.29
15	愛宕神社本殿・拝殿 附 棟札3枚	2棟	太白区向山四丁目17-1	愛宕神社	H8.1.30
16	毘沙門堂唐門	1棟	若林区荒町206番地	満福寺	H8.1.30
17	旧姉齒家茶室(残月亭) 附 扁額「残月亭」1面	1棟	青葉区川内追廻無番地	仙台市	H9.7.1
18	陸奥国分寺鐘楼堂	1棟	若林区木ノ下三丁目78番10	陸奥国分寺	R5.3.29
有形文化財／絵画					
19	紙本著色伊達政宗画像(狩野探幽筆)	1幅	青葉区川内26	仙台市(博物館)	S44.7.31
20	菊絵和歌屏風	2隻	青葉区川内26	仙台市(博物館)	S51.7.1
21	躑躅ヶ岡花見図屏風	6曲半双	青葉区川内26	仙台市(博物館)	S51.7.1
22	菅井梅閣水亭午翠図	1幅	青葉区川内26	仙台市(博物館)	S51.7.1
23	仙台城日本丸及び二ノ丸御殿障壁画	2曲1双, 6面, 4面	青葉区川内26	仙台市(博物館)	S60.9.4
24	仙台藩歴代藩主及夫人肖像画	31幅2面	青葉区川内26	仙台市(博物館)	S60.9.4
25	絹本著色靈昭女・牡丹・芙蓉図(伊達綱宗筆)	3幅	青葉区川内26	仙台市(博物館)	S60.9.4
26	紙本著色河図之図(東東洋筆)	1幅	青葉区川内26	仙台市(博物館)	S60.9.4
27	銅板油彩悲しみのマリア像	1面	青葉区川内26	仙台市(博物館)	S60.9.4
28	瀟湘八景図(雪村周継筆)	6幅	青葉区川内26	仙台市(博物館)	H7.3.23
29	大年寺山真景図(伝高久靄厓筆)	1面	青葉区川内26	個人	H7.3.23
有形文化財／彫刻					
30	木造釈迦如来坐像	1躯	青葉区北山一丁目14-1	輪王寺	S51.7.1
31	木造釈迦如来立像	1躯	青葉区茂庭字綱木裏山4	大梅寺	H2.3.19
32	木造毘沙門天立像	1躯	青葉区茂庭字綱木裏山4	大梅寺	H2.3.19
33	木造安国上人坐像	1躯	若林区土樋一丁目11-16	真福寺	H2.3.19
34	宝冠釈迦如来坐像	1躯	青葉区国見一丁目15-1	壽徳寺	H2.3.19
35	木造雲居希膺坐像	1躯	青葉区茂庭字綱木裏山4	大梅寺	H9.3.25
36	木造大元帥明王立像 厨子入	1躯	青葉区八幡四丁目6-1	大崎八幡宮	H9.3.25

V. 指定文化財及び登録文化財一覧

番号	名 称	員数	所在地	所有者(管理者)	指定年月日
37	木造阿弥陀如来坐像	1 躯	青葉区三条町7-27	大法寺	H10.3.24
38	木造阿弥陀三尊像	3 躯	宮城野区榴岡四丁目10-1	円徳寺	H10.3.24
39	木造阿弥陀如来立像	1 躯	若林区新寺二丁目4-10	報恩寺	H10.3.24
40	木造愛宕尊騎馬像・六地藏菩薩立像	7 躯	青葉区新坂町6-1	正圓寺	H10.3.24
41	舞楽面 陵王・納曾利	各1面	若林区木ノ下三丁目9-1	白山神社	H14.3.22
有形文化財／工艺品					
42	銅造薬師十二神将像掛額	1 面	若林区木ノ下三丁目8-1	陸奥国分寺	S51.7.1
43	梵鐘	1 口	太白区向山四丁目4-1	大満寺	S52.3.1
44	仙台藩歴代藩主所用具足	11 領	青葉区川内26	仙台市(博物館)	S60.9.4
45	服飾類 伊達政宗所用	一括	青葉区川内26	仙台市(博物館)	S60.9.4
46	孔雀羽根織込陣羽織 伊達重村所用	1 領	青葉区川内26	仙台市(博物館)	S60.9.4
47	茶杓 仙台藩歴代藩主作	61 箇	青葉区川内26	仙台市(博物館)	S60.9.4
48	仙台城旧本丸御殿金具	2 個	青葉区川内26	仙台市(博物館)	S60.9.4
49	花鳥山水孔雀羽雪薄紋散蒔絵十三弦琴 附 黒漆松竹梅鶴亀蒔絵琴箱 1合	1 面	青葉区川内26	仙台市(博物館)	S60.9.4
50	黒漆五枚胴具足 (伊達政宗所用・菅野正左衛門重成拝領)	1 領	青葉区川内26	仙台市(博物館)	H20.3.24
51	朱緞漆六枚胴具足 三宝荒神形兜付 (伝上杉謙信所用)	1 領	青葉区川内26	仙台市(博物館)	H20.3.24
52	脇差 附 金梨地葵紋拵	1 口	青葉区川内26	仙台市(博物館)	H20.3.24
53	葵紋菊蒔絵耳盤	1 具	青葉区川内26	仙台市(博物館)	H24.12.21
54	竹菱梅葵紋蒔絵女乗物	1 挺	青葉区川内26	仙台市(博物館)	H26.7.31
有形文化財／書跡					
55	雲居禅師墨跡三幅対	3 幅	青葉区茂庭字綱木裏山4	大梅寺	S51.7.1
有形文化財／古文書					
56	印章 仙台伊達家伝来	133 顆	青葉区川内26	仙台市(博物館)	S60.9.4
57	伊達治家記録(仙台市博物館本)	696 冊	青葉区川内26	仙台市(博物館)	S60.9.4
58	伊達世臣家譜及統編(仙台市博物館本)	268 冊	青葉区川内26	仙台市(博物館)	S60.9.4
59	伊達出自正統世次考(仙台市博物館本)	25 冊	青葉区川内26	仙台市(博物館)	S60.9.4
60	林子平自筆写本絵図類 附 六無斎遺詠1冊	8 枚	青葉区川内26	仙台市(博物館)	S60.9.4
61	支倉家文書	一括	青葉区川内26	仙台市(博物館)	S60.9.4
62	大梅寺所蔵文書(慈悲尾山寺関連文書)	1 卷	青葉区茂庭字綱木裏山4	大梅寺	H15.3.25
有形文化財／考古資料					
63	伊達政宗墓所出土品	一括	青葉区川内26	仙台市(博物館)	S60.9.4
64	伊古田遺跡出土土偶	4 箇	青葉区国分町三丁目7-1	仙台市	H6.3.29
65	戸ノ内遺跡方形周溝墓出土土器	2 箇	青葉区国分町三丁目7-1	仙台市	H6.3.29
66	中在家南遺跡出土遺物	1,894点	宮城野区高砂二丁目22-1	仙台市	H15.3.25
67	押口遺跡出土遺物	292点	宮城野区高砂二丁目22-1	仙台市	H15.3.25
68	春日社古墳出土副葬品	一括	青葉区国分町三丁目7-1	仙台市	H24.4.10
有形文化財／歴史資料					
69	晴宗公采地下賜録	2 冊	青葉区川内26	仙台市(博物館)	S51.7.1
70	芭蕉句碑	1 基	若林区木ノ下二丁目70	陸奥国分寺	S51.7.1
71	大淀三千風供養碑	1 基	若林区木ノ下二丁目70	陸奥国分寺	S51.7.1
72	芭蕉句碑	1 基	宮城野区榴ヶ岡105-3	榴岡天満宮	S52.3.1
73	原町苦竹の道知るべ石	1 基	宮城野区原町三丁目	仙台市	S52.3.1
74	澱不動尊文永十年板碑	1 基	青葉区広瀬町8-1	澱町むつみ会	H6.3.29
75	堤人形土型	292点	青葉区堤町	個人	H11.2.1
76	仙台城及び江戸上屋敷主要建物姿絵図	1 卷	青葉区川内26	仙台市(博物館)	H11.2.1
77	玉蟲左太夫「航米日録」及び関係資料	48 件	青葉区川内26	仙台市(博物館)	H11.3.23
78	幕府提出用仙台城下絵図	1 鋪	青葉区川内26	仙台市(博物館)	H12.4.28
79	藩政用仙台城下絵図	5 鋪	青葉区川内26	仙台市(博物館)	H12.4.28
80	仙台城下鳥瞰図	1 幅, 1 面	青葉区川内26	仙台市(博物館)	H12.4.28
81	仙台藩修復帳	1 冊	青葉区荒巻字青葉6-6	東北大学	H12.4.28

番号	名称	員数	所在地	所有者(管理者)	指定年月日
82	伊達政宗和歌詠草「入そめて」 附 春慶塗印籠蓋造箱1合	1幅	青葉区川内26	仙台市(博物館)	H13.3.22
83	旧大橋の擬宝珠	1口	青葉区川内26	仙台市(博物館)	H13.3.22
84	堤人形土型	1,759点	青葉区堤町	個人	H15.3.25
85	朴沢学園裁縫教育資料	一括	青葉区川平二丁目26-1	学校法人朴沢学園	H23.7.1
86	朴沢学園裁縫学習資料	3,956点	青葉区川平二丁目26-1	学校法人朴沢学園	R2.8.3
有形民俗文化財					
87	上前十三塚	13基	太白区坪沼	個人	H2.3.19
88	源頼政鶴退治図	1面	太白区向山四丁目17-1	愛宕神社	H4.7.7
89	牛若丸剣道修行図	1面	太白区向山四丁目17-1	愛宕神社	H4.7.7
90	中村景貞乗馬図	1面	太白区四郎丸字落合59	光西寺(落合観音堂奉賛会)	H4.7.7
91	曳馬図	1面	太白区四郎丸字落合59	光西寺(落合観音堂奉賛会)	H4.7.7
92	宇治川先陣図	1面	太白区四郎丸字落合59	光西寺(落合観音堂奉賛会)	H4.7.7
93	金銅板押出三重塔	1面	太白区四郎丸字落合59	光西寺(落合観音堂奉賛会)	H4.7.7
94	旧石切町の石工用具(黒田家資料)	362点	青葉区八幡・宮城野区高砂二丁目22-1	個人・仙台市	H16.11.30
95	旧石切町の石工用具(小梨家資料)	283点	宮城野区高砂二丁目22-1	仙台市	H16.11.30
無形民俗文化財					
96	馬場愛宕神社神楽		太白区秋保町馬場	馬場愛宕神社神楽保存会	S61.8.1
97	榊流青麻神楽		宮城野区岩切字青麻沢	榊流青麻神楽保存会	H3.10.1
98	生出森八幡神楽		太白区茂庭	生出森八幡神楽保存会	H3.10.1
99	大崎八幡宮の松焚祭(どんと祭)		青葉区八幡四丁目6-1	大崎八幡宮	H17.1.17
100	仙台消防階子乗り		青葉区堤町雨宮町2-15	仙台消防階子乗り保存会	H29.11.30
史跡					
101	善心寺横穴古墳群		宮城野区燕沢二丁目	善心寺	S43.2.15
102	三沢初子の墓など		宮城野区榴岡五丁目4	仙台市	S47.2.1
103	刀工本郷国包各代の墓所		若林区新寺二丁目7-33	善導寺	S55.10.20
104	経ヶ峯伊達家墓所		青葉区霊屋下	仙台市ほか	S59.7.21
105	西館跡		青葉区下愛子	個人	S50.12.11
106	郷六城跡		青葉区郷六	個人	S50.12.11
107	栽松院墓所		泉区根白石字館下	満興寺	S43.3.1
108	松森焔硝藏跡		泉区南光台東二丁目35-8	仙台市	S62.5.1
109	東光寺の石窟群・西平場		宮城野区岩切字入山	仙台市(東光寺)・東光寺	H18.1.17
天然記念物					
110	霊屋下セコイヤ類化石林		青葉区米ヶ袋一丁目、三丁目、霊屋下	宮城県	S48.8.6
111	大梅寺のヒヨクヒバ	1本	青葉区茂庭字綱木裏山4	大梅寺	S52.3.1
112	簪桜	3本	青葉区愛子中央	個人	S61.5.30
113	泉ヶ岳のミズバショウほか湿生植物群生地		泉区福岡字岳山	仙台市	S40.5.12
114	賀茂神社のアラクシ	2本	泉区古内字糺1	賀茂神社	S60.4.25
115	仙台城二の丸跡南西境の杉並木(部分)	13本	青葉区川内12-2	国(財務省東北財務局) 東北大学	H18.12.5
116	子平町の藤	1株	青葉区子平町	個人	H23.7.1

(4) 国登録文化財

有形文化財/建造物					
1	青下第1ダム	1基	青葉区熊ヶ根字大原道17-2地先	仙台市水道事業管理者	H11.7.19
2	青下第1ダム取水塔	1基	青葉区熊ヶ根字大原道17-2地先	仙台市水道事業管理者	H11.7.19
3	青下隧道入口	1基	青葉区大倉字大原新田12-7地先	仙台市水道事業管理者	H11.7.19
4	青下第2ダム	1基	青葉区熊ヶ根字大原道27-2地先	仙台市水道事業管理者	H11.7.19
5	青下第3ダム	1基	青葉区大倉字前原1-2地先	仙台市水道事業管理者	H11.7.19
6	青下量水堰	1基	青葉区大倉字西原38地先	仙台市水道事業管理者	H11.7.19
7	青下ダム旧管理事務所	1棟	青葉区熊ヶ根字大原道18地先	仙台市水道事業管理者	H11.7.19
8	青下ダム記念碑	1基	青葉区熊ヶ根字大原道18地先	仙台市水道事業管理者	H11.7.19
9	中原系苦地取水口	1基	青葉区芋沢字中田西29-1地先	仙台市水道事業管理者	H11.7.19

V. 指定文化財及び登録文化財一覧

番号	名 称	員数	所在地	所有者(管理者)	指定年月日
10	中原浄水場旧管理事務所	1棟	青葉区芋沢字中原24地先	仙台市水道事業管理者	H11.7.19
11	荒巻配水池入口	1基	青葉区国見三丁目6-1地先	仙台市水道事業管理者	H11.7.19
12	三居沢発電所	1棟	青葉区荒巻三居沢17-1	東北電力株式会社	H11.9.7
13	菊地家住宅主屋	1棟	青葉区芋沢	個人	H12.5.25
14	菊地家住宅隠居所	1棟	青葉区芋沢	個人	H12.5.25
15	菊地家住宅板倉	1棟	青葉区芋沢	個人	H12.5.25
16	菊地家住宅土蔵	1棟	青葉区芋沢	個人	H12.5.25
17	庄子屋醤油店店舗及び住宅	1棟	青葉区八幡	個人	H12.12.20
18	門間箆笥店板倉	1棟	若林区南鍛冶町143	(株)門間箆笥店	H14.3.12
19	門間箆笥店稲荷社	1棟	若林区南鍛冶町143	(株)門間箆笥店	H14.3.12
20	門間箆笥店塗り工房	1棟	若林区南鍛冶町143	(株)門間箆笥店	H14.3.12
21	大崎八幡宮社務所	1棟	青葉区八幡四丁目170	大崎八幡宮	H23.7.25
22	大崎八幡宮旧官司宿舎	1棟	青葉区八幡四丁目170	大崎八幡宮	H23.7.25
23	大崎八幡宮神馬舎	1棟	青葉区八幡四丁目170	大崎八幡宮	H23.7.25
24	東北学院大学本館(旧東北学院専門部校舎)	1棟	青葉区土樋1-1	学校法人東北学院	H26.12.19
25	ラーハウザー記念東北学院礼拝堂	1棟	青葉区土樋1-1	学校法人東北学院	H26.12.19
26	東北学院大学大学院棟 (旧シュネーダー記念東北学院図書館)	1棟	青葉区土樋1-1	学校法人東北学院	H26.12.19
27	旧仙台医学専門学校博物・理化学教室 (東北大学本部棟3)	1棟	青葉区片平二丁目1-1	東北大学	H29.10.27
28	旧仙台医学専門学校六号教室 (東北大学魯迅の階段教室)	1棟	青葉区片平二丁目1-1	東北大学	H29.10.27
29	旧第二高等学校書庫(東北大学文化財収蔵庫)	1棟	青葉区片平二丁目1-1	東北大学	H29.10.27
30	旧東北帝国大学附属図書館閲覧室(東北大学史料館)	1棟	青葉区片平二丁目1-1	東北大学	H29.10.27
31	旧東北帝国大学理学部化学教室棟 (東北大学本部棟1)	1棟	青葉区片平二丁目1-1	東北大学	H29.10.27
32	定義如来西方寺御廟貞能堂	1棟	青葉区大倉字上下1	西方寺	H30.3.27
33	定義如来西方寺御守授所	1棟	青葉区大倉字上下1	西方寺	H30.3.27
34	定義如来西方寺鐘楼堂	1棟	青葉区大倉字上下1	西方寺	H30.3.27
35	定義如来西方寺手水舎	1棟	青葉区大倉字上下1	西方寺	H30.3.27
36	定義如来西方寺山門	1棟	青葉区大倉字上下1	西方寺	H30.3.27
37	青葉神社本殿	1棟	青葉区青葉町173他	青葉神社	H31.3.29
38	青葉神社中門及び祝詞舎	1棟	青葉区青葉町173他	青葉神社	H31.3.29
39	青葉神社透塀	1棟	青葉区青葉町173他	青葉神社	H31.3.29
40	青葉神社拝殿	1棟	青葉区青葉町173他	青葉神社	H31.3.29
41	青葉神社神饌所及び伝供廊	1棟	青葉区青葉町173他	青葉神社	H31.3.29
42	青葉神社旧愛姫社鞘堂	1棟	青葉区青葉町173他	青葉神社	H31.3.29
43	宮城野納豆製造所納豆及び納豆菌製造棟	1棟	宮城野区銀杏町663他	宮城野納豆製造所	R1.9.10
44	宮城野納豆製造所熟成棟	1棟	宮城野区銀杏町663他	宮城野納豆製造所	R1.9.10
45	宮城野納豆製造所石蔵及び豆小屋	1棟	宮城野区銀杏町663他	宮城野納豆製造所	R1.9.10
46	宮城野納豆製造所休憩室	1棟	宮城野区銀杏町663他	宮城野納豆製造所	R1.9.10
47	宮城野納豆製造所ボイラー室	1棟	宮城野区銀杏町663他	宮城野納豆製造所	R1.9.10
48	宮城野納豆製造所垂炭小屋	1棟	宮城野区銀杏町663他	宮城野納豆製造所	R1.9.10
49	宮城野納豆製造所車庫	1棟	宮城野区銀杏町663他	宮城野納豆製造所	R1.9.10
50	鳥山米穀店店舗兼主屋	1棟	宮城野区原町	個人	R2.8.17
51	旧東北帝国大学理学部生物学教室	1棟	青葉区片平二丁目1-5	東北大学	R3.10.14
52	旧東北帝国大学法文学部第二研究室	1棟	青葉区片平二丁目1-1	東北大学	R3.10.14
53	旧東北帝国大学工学部機械学及び電気学教室	1棟	青葉区片平二丁目1-1	東北大学	R3.10.14
54	旧東北帝国大学工学部機械学及び電気学実験室	1棟	青葉区片平二丁目1-1	東北大学	R3.10.14
55	旧仙台高等工業学校建築学科棟	1棟	青葉区片平二丁目1-3	東北大学	R3.10.14
56	本多記念館	1棟	青葉区片平二丁目1-5	東北大学	R3.10.14
57	旧制第二高等学校正門	1基	青葉区片平二丁目1-1	東北大学	R3.10.14
58	旧東北帝国大学正門(東北大学正門)	1基	青葉区片平二丁目1-1	東北大学	R3.10.14

番号	名称	員数	所在地	所有者(管理者)	指定年月日
59	東北学院大学正門	1基	青葉区土樋1-1	学校法人東北学院	R3.10.14
有形文化財／歴史資料					
60	紙芝居資料	5,652点	泉区紫山一丁目1-1	宮城県(図書館)	H18.3.31
61	建築教育・研究資料 (仙台高等工業学校建築学科旧蔵)	1,437点	青葉区荒巻字青葉6-6	東北大学	R1.7.23
62	官立高等教育機関営繕組織近代建築図面 (東北帝国大学営繕課旧蔵)	1,139点	青葉区片平二丁目1-1・青葉区荒巻字青葉6-6	東北大学	R1.7.23
(5) 市登録文化財					
有形文化財／建造物					
1	安藤家住宅	1棟	青葉区宮町	個人	H7.9.5
2	大滝不動堂	1棟	太白区秋保町馬場字大滝11	西光寺	H7.9.5
3	釈迦堂	1棟	宮城野区榴岡四丁目11-11	孝勝寺	H7.9.5
4	壽徳寺山門	1棟	青葉区国見一丁目15-1	壽徳寺	H7.9.5
5	松音寺山門	1棟	若林区新寺四丁目6-28	松音寺	H7.9.5
6	稱念寺本堂	1棟	青葉区新坂町10-3	稱念寺	H7.9.5
7	昌繁寺山門・観音堂	2棟	青葉区新坂町13-1	昌繁寺	H7.9.5
8	正楽寺本堂・山門	2棟	若林区新寺二丁目6-35	正楽寺	H7.9.5
9	榴岡天満宮唐門	1棟	宮城野区榴ヶ岡105-3	榴岡天満宮	H7.9.5
10	仏眼寺本堂	1棟	若林区荒町35	仏眼寺	H7.9.5
11	陸奥国分寺准胝観音堂	1棟	若林区木ノ下二丁目4	陸奥国分寺	H7.9.5
12	冷源寺山門	1棟	若林区成田町125	冷源寺	H7.9.5
13	大崎八幡宮石段	1基	青葉区八幡四丁目6-1	大崎八幡宮	H7.9.5
14	亀岡八幡宮石段	1基	青葉区川内亀岡町62	亀岡八幡宮	H7.9.5
15	東照宮石段	2基	青葉区東照宮一丁目6-1	東照宮	H7.9.5
16	仙岳院本堂	1棟	青葉区東照宮一丁目1-16	仙岳院	H8.3.5
17	清浄光院本堂	1棟	青葉区宮町五丁目1-11	清浄光院	H8.3.5
18	延寿院本堂・地藏堂	2棟	青葉区宮町五丁目6-18	延寿院	H8.3.5
19	善入院観音堂	1棟	宮城野区原町一丁目1-67	善入院	H8.3.5
20	瑞鳳寺高尾門	1棟	青葉区霊屋下23-5	瑞鳳寺	H8.3.5
21	生出森八幡神社里宮	1棟	太白区茂庭字中ノ瀬西31	生出森八幡神社	H8.3.5
22	北山羽黒神社境内社	1棟	青葉区北山二丁目8-15	羽黒神社	H8.3.5
23	愛宕神社神門	1棟	太白区向山四丁目17-1	愛宕神社	H8.3.5
有形文化財／彫刻					
24	十一面観音菩薩立像	1躯	宮城野区燕沢二丁目3-1	善応寺	H9.3.25
25	毘沙門天立像	1躯	宮城野区燕沢二丁目3-1	善応寺	H9.3.25
26	阿弥陀如来坐像	1躯	青葉区新坂町13-1	昌繁寺	H9.3.25
27	釈迦三尊坐像	3躯	青葉区東照宮一丁目1-16	仙岳院	H9.3.25
28	阿弥陀如来坐像	1躯	青葉区東照宮一丁目1-16	仙岳院	H9.3.25
29	薬師三尊十二神将立像	15躯	青葉区東照宮一丁目1-16	仙岳院	H9.3.25
30	五大明王像	5躯	青葉区東照宮一丁目1-16	仙岳院	H9.3.25
31	馬頭観音菩薩坐像	1躯	青葉区東照宮一丁目1-16	仙岳院	H9.3.25
32	日光・月光菩薩立像	2躯	若林区木ノ下二丁目2-28	陸奥国分寺	H9.3.25
33	釈迦如来坐像 附 胎内仏1躯 名札1枚	1躯	若林区新寺四丁目7-6	大林寺	H9.3.25
34	木造 阿弥陀如来二十五菩薩像及び地藏菩薩立像	27躯	若林区新寺二丁目4-10	報恩寺	H10.3.24
35	木造 観世音・勢至菩薩坐像	2躯	若林区新寺三丁目5-3	阿弥陀寺	H10.3.24
36	木造 聖観音菩薩立像	1躯	若林区新寺三丁目5-3	阿弥陀寺	H10.3.24
37	木造 地藏菩薩立像	4躯	青葉区宮町五丁目1-11	清浄光院	H10.3.24
38	木造 不動三尊立像	3躯	青葉区宮町五丁目1-11	清浄光院	H10.3.24
39	木造 閻魔十王像	11躯	青葉区宮町五丁目1-11	清浄光院	H10.3.24
無形民俗文化財					
40	木ノ下白山神社丹波神楽		若林区木ノ下	木ノ下白山神社丹波神楽保存会	H8.3.5
41	七郷神社丹波神楽		若林区荒井	七郷神社丹波神楽保存会	H8.3.5

V. 指定文化財及び登録文化財一覧

番号	名 称	員数	所在地	所有者(管理者)	指定年月日
42	仙台東照宮神楽		青葉区東照宮	仙台東照宮神楽保存会	H8.3.5
43	秋保神社神楽		太白区秋保町	秋保神社神楽保存会	H8.3.5
44	通町熊野神社神楽		青葉区通町	通町熊野神社神楽保存会	H8.3.5

仙台市の文化財 種類と数

令和5年4月1日現在

区 分	種 別	国指定	県指定	市指定	小 計	国登録	市登録	小 計	総 計
有形文化財	建 造 物	5 (1)	11	18	34	59	23	82	116
	絵 画		5	11	16				16
	彫 刻	1	7	12	20		16	16	36
	工 芸 品	5	8	13	26				26
	書 跡	3 (2)	19	1	23				23
	古 文 書	2		7	9				9
	考 古 資 料	2	3	6	11				11
	歴 史 資 料	4 (1)	11	18	33	3		3	36
	小 計	22	64	86	172	62	39	101	273
無 形 文 化 財		1			1				1
有形民俗文化財				9	9				9
無形民俗文化財		1	12	5	18		5	5	23
記 念 物	史 跡	7		9	16				16
	名 勝	3			3				3
	天然記念物	6 (1)	3	7	16				16
	小 計	16	3	16	35				35
総 計		40	79	116	235	62	44	106	341

註1：国指定の有形文化財(重要文化財)の中で特に価値の高いものが国宝、国指定の記念物(史跡・名勝・天然記念物)の中で特に重要なものが特別史跡・特別名勝・特別天然記念物に指定されています。

註2：()内は、国宝・特別天然記念物の件数を内数で示しています。

Ⅵ. 仙台市文化財調査報告書刊行目録

番号	書名	番号	書名
第 1集	天然記念物霊屋下セコイヤ化石林調査報告書(昭和39年4月)	第 40集	仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報Ⅰ(昭和57年3月)
第 2集	仙台北城(昭和42年3月)	第 41集	年報3(昭和57年3月)
第 3集	仙台市燕沢善心寺横穴古墳群調査報告書(昭和43年3月)	第 42集	郡山遺跡-宅地造成に伴う緊急発掘調査-(昭和57年3月)
第 4集	史跡陸奥国分尼寺跡環境整備並びに調査報告書(昭和44年3月)	第 43集	栗遺跡(昭和57年8月)
第 5集	仙台市南小泉法領塚古墳調査報告書(昭和47年8月)	第 44集	鴻ノ巣遺跡発掘調査報告書(昭和57年12月)
第 6集	仙台市荒巻五本松窯跡発掘調査報告書(昭和48年10月)	第 45集	茂庭-茂庭住宅団地造成工事地内遺跡発掘調査報告書-(昭和58年3月)
第 7集	仙台市富沢裏町古墳発掘調査報告書(昭和49年3月)	第 46集	郡山遺跡Ⅲ-昭和57年度発掘調査概報-(昭和58年3月)
第 8集	仙台市向山愛宕山横穴群発掘調査報告書(昭和49年5月)	第 47集	仙台平野の遺跡群Ⅱ-昭和57年度発掘調査報告書-(昭和58年3月)
第 9集	仙台市根岸町宗禅寺横穴群発掘調査報告書(昭和51年3月)	第 48集	史跡遠見塚古墳昭和57年度環境整備予備調査概報(昭和58年3月)
第 10集	仙台市中田町安久東遺跡発掘調査概報(昭和51年3月)	第 49集	仙台市文化財分布調査報告Ⅰ(昭和58年3月)
第 11集	史跡遠見塚古墳環境整備予備調査概報(昭和51年3月)	第 50集	岩切畑中遺跡発掘調査報告書(昭和58年3月)
第 12集	史跡遠見塚古墳環境整備第二次予備調査概報(昭和52年3月)	第 51集	仙台市文化財分布地図(昭和58年3月)
第 13集	南小泉遺跡-範囲確認調査報告書-(昭和53年3月)	第 52集	南小泉遺跡-都市計画街路建設工事関係第2次調査報告-(昭和58年3月)
第 14集	栗遺跡発掘調査報告書(昭和54年3月)	第 53集	中田畑中遺跡発掘調査報告書(昭和58年3月)
第 15集	史跡遠見塚古墳昭和53年度環境整備予備調査概報(昭和54年3月)	第 54集	神明社窯跡発掘調査報告書(昭和58年3月)
第 16集	六反田遺跡発掘調査(第2・3次)のあらまし(昭和54年3月)	第 55集	南小泉遺跡-青葉女子学園移転新営工事地内調査報告-(昭和58年3月)
第 17集	北屋敷遺跡(昭和54年3月)	第 56集	仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報Ⅱ(昭和58年3月)
第 18集	栢江遺跡発掘調査報告書(昭和55年3月)	第 57集	年報4(昭和58年3月)
第 19集	仙台市地下鉄関係分布調査報告書(昭和55年3月)	第 58集	今泉城跡発掘調査報告書(昭和58年3月)
第 20集	史跡遠見塚古墳昭和54年度環境整備予備調査概報(昭和55年3月)	第 59集	下ノ内浦遺跡(昭和58年3月)
第 21集	仙台市開発関係遺跡調査報告書Ⅰ(昭和55年3月)	第 60集	南小泉遺跡-倉庫建築に伴う緊急発掘調査報告書-(昭和58年3月)
第 22集	経ヶ峯(昭和55年3月)	第 61集	山口遺跡Ⅱ-仙台市体育館建設予定地-(昭和59年2月)
第 23集	年報1(昭和55年3月)	第 62集	燕沢遺跡(昭和59年3月)
第 24集	今泉城跡発掘調査報告書(昭和55年8月)	第 63集	史跡陸奥国分寺跡昭和58年度環境整備予備調査概報(昭和59年3月)
第 25集	三神峯遺跡発掘調査報告書(昭和55年12月)	第 64集	郡山遺跡Ⅳ-昭和58年度発掘調査概報-(昭和59年3月)
第 26集	史跡遠見塚古墳昭和55年度環境整備予備調査概報(昭和56年3月)	第 65集	仙台平野の遺跡群Ⅲ-昭和58年度発掘調査報告書-(昭和59年3月)
第 27集	史跡陸奥国分寺跡昭和55年度環境整備予備調査概報(昭和56年3月)	第 66集	年報5(昭和59年3月)
第 28集	年報2(昭和56年3月)	第 67集	富沢水田遺跡-第1冊-泉崎前地区(昭和59年3月)
第 29集	郡山遺跡Ⅰ-昭和55年度発掘調査概報-(昭和56年3月)	第 68集	南小泉遺跡-都市計画街路建設工事関係第3次調査報告-(昭和59年3月)
第 30集	山田上ノ台遺跡発掘調査概報(昭和56年3月)	第 69集	仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報Ⅲ(昭和59年3月)
第 31集	仙台市開発関係遺跡調査報告書Ⅱ(昭和56年3月)	第 70集	戸ノ内遺跡発掘調査報告書(昭和59年3月)
第 32集	鴻ノ巣遺跡発掘調査報告書(昭和56年3月)	第 71集	後河原遺跡(昭和59年3月)
第 33集	山口遺跡発掘調査報告書(昭和56年3月)	第 72集	六反田遺跡Ⅱ(昭和59年3月)
第 34集	六反田遺跡発掘調査報告書(昭和56年12月)	第 73集	仙台市文化財分布調査報告Ⅱ(昭和59年3月)
第 35集	南小泉遺跡-都市計画街路建設工事関係第1次調査報告-(昭和57年3月)	第 74集	郡山遺跡Ⅴ-昭和59年度発掘調査概報-(昭和60年3月)
第 36集	北前遺跡発掘調査報告書(昭和57年3月)	第 75集	仙台平野の遺跡群Ⅳ-昭和59年度発掘調査報告書-(昭和60年3月)
第 37集	仙台平野の遺跡群Ⅰ-昭和56年度発掘調査報告書-(昭和57年3月)	第 76集	仙台北城三ノ丸跡発掘調査報告書(昭和60年3月)
第 38集	郡山遺跡Ⅱ-昭和56年度発掘調査概報-(昭和57年3月)	第 77集	山田上ノ台遺跡-昭和59年度発掘調査報告書-(昭和60年3月)
第 39集	燕沢遺跡発掘調査報告書(昭和57年3月)	第 78集	中田畑中遺跡-第2次発掘調査報告書-(昭和60年3月)

Ⅶ. 仙台市文化財調査報告書刊行目録

番号	書名	番号	書名
第79集	欠ノ上Ⅰ遺跡発掘調査報告書(昭和60年3月)	第121集	仙台市文化財分布調査報告書Ⅵ(昭和63年3月)
第80集	南小泉遺跡-第12次発掘調査報告書-(昭和60年3月)	第122集	年報9(昭和63年3月)
第81集	南小泉遺跡-第13次発掘調査報告書-(昭和60年3月)	第123集	鴻ノ巣遺跡(平成元年3月)
第82集	仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報Ⅳ(昭和60年3月)	第124集	郡山遺跡Ⅸ-昭和63年度発掘調査概報-(平成元年3月)
第83集	年報6(昭和60年3月)	第125集	仙台平野の遺跡群Ⅷ-昭和63年度発掘調査報告書-(平成元年3月)
第84集	仙台市文化財分布調査報告書Ⅲ(昭和60年3月)	第126集	富沢遺跡・泉崎遺跡-仙台市高速鉄道関係遺跡発掘調査報告書Ⅰ-(平成元年3月)
第85集	宮城県仙台市愛宕山装飾横穴古墳発掘調査報告書(昭和60年8月)	第127集	上野遺跡-電力鉄塔関係発掘調査報告書-(平成元年3月)
第86集	郡山遺跡Ⅵ-昭和60年度発掘調査概報-(昭和61年3月)	第128集	富沢・泉崎浦・山口遺跡-富沢遺跡第36~48次・泉崎浦遺跡第4次・山口遺跡第5~8次発掘調査報告書-(平成元年3月)
第87集	仙台平野の遺跡群Ⅴ-昭和60年度発掘調査報告書-(昭和61年3月)	第129集	北前遺跡第3次発掘調査報告書(平成元年3月)
第88集	上野遺跡市道十文字線発掘調査略報(昭和61年3月)	第130集	茂ヶ崎横穴墓群(平成元年3月)
第89集	仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報Ⅴ(昭和61年3月)	第131集	南小泉遺跡-第15次発掘調査報告書-(平成元年3月)
第90集	若林城跡-平安時代の集落跡-(昭和61年3月)	第132集	年報10(平成元年3月)
第91集	東北電力鉄塔関係遺跡調査報告書(昭和61年3月)	第133集	郡山遺跡Ⅹ-平成元年度発掘調査概報-(平成2年3月)
第92集	五城中学校北窯跡発掘調査報告書(昭和61年3月)	第134集	仙台平野の遺跡群Ⅸ-平成元年度発掘調査報告書-(平成2年3月)
第93集	仙台市文化財分布調査報告書Ⅳ(昭和61年3月)	第135集	富沢・泉崎浦・山口遺跡(2)-富沢遺跡第50~56次・山口遺跡第10・12次発掘調査報告書-(平成2年3月)
第94集	年報7(昭和61年3月)	第136集	下ノ内遺跡-仙台市高速鉄道関係遺跡発掘調査報告書Ⅱ-(平成2年3月)
第95集	柳生-土地区画整理事業に伴う柳生地区の遺跡分布調査と、松木遺跡の発掘調査報告書-(昭和62年3月)	第137集	茂庭けんとう城・東館跡発掘調査報告書(平成2年3月)
第96集	郡山遺跡Ⅶ-昭和61年度発掘調査概報-(昭和62年3月)	第138集	大野田古墳群発掘調査報告書(平成2年3月)
第97集	仙台平野の遺跡群Ⅵ-昭和61年度発掘調査報告書-(昭和62年3月)	第139集	赤生津遺跡発掘調査報告書(平成2年3月)
第98集	富沢 仙台市都市計画道路長町・折立線建設に伴う富沢遺跡第15次発掘調査報告書(昭和62年3月)	第140集	南小泉遺跡-第16~18次発掘調査報告書-(平成2年3月)
第99集	五本松窯跡発掘調査報告書(昭和62年3月)	第141集	南小泉遺跡-第19次発掘調査報告書-(平成2年3月)
第100集	山田上ノ台遺跡発掘調査報告書(昭和62年3月)	第142集	富沢遺跡第49次・東光寺遺跡第3次・青葉山A遺跡(平成2年3月)
第101集	仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報Ⅵ(昭和62年3月)	第143集	年報11(平成2年3月)
第102集	六反田遺跡発掘調査報告書(昭和62年3月)	第144集	仙台城址の自然(平成2年3月)
第103集	元袋Ⅲ遺跡発掘調査報告書(昭和62年3月)	第145集	郡山遺跡-第84次・85次発掘調査報告書-(平成2年3月)
第104集	富沢遺跡-東北地方建設局長町宿舍建設工事に伴う発掘調査報告書-(昭和62年3月)	第146集	郡山遺跡ⅩⅠ-平成2年度発掘調査概報-(平成3年3月)
第105集	北前遺跡発掘調査報告書(昭和62年3月)	第147集	仙台平野の遺跡群Ⅹ-平成2年度発掘調査報告書-(平成3年3月)
第106集	仙台市文化財分布調査報告書Ⅴ(昭和62年3月)	第148集	鴻ノ巣遺跡-第6次調査報告書-(平成3年3月)
第107集	年報8(昭和62年3月)	第149集	富沢遺跡-第30次調査報告書Ⅰ(縄文~近世編)-(平成3年3月)
第108集	春日社古墳・鳥居塚古墳発掘調査報告書(昭和62年8月)	第150集	富沢遺跡-第35次発掘調査報告書-(平成3年3月)
第109集	南小泉遺跡-第14次発掘調査報告書-(昭和62年11月)	第151集	山口遺跡-第9次・第10次発掘調査報告書-(平成3年3月)
第110集	郡山遺跡Ⅷ-昭和62年度発掘調査概報-(昭和63年3月)	第152集	富沢・泉崎浦・山口遺跡(3)-富沢遺跡第57~68次・山口遺跡第13・14次発掘調査報告書-(平成3年3月)
第111集	仙台平野の遺跡群Ⅶ-昭和62年度発掘調査報告書-(昭和63年3月)	第153集	南小泉遺跡-第20次発掘調査報告書-(平成3年3月)
第112集	東光寺遺跡-第1・2次発掘調査報告書-(昭和63年3月)	第154集	燕沢遺跡-第4・5・6次発掘調査報告書-(平成3年3月)
第113集	富沢遺跡-24次調査富沢中学校地区発掘調査報告書-(昭和63年3月)	第155集	年報12(平成3年3月)
第114集	富沢遺跡-第28次発掘調査報告書-(昭和63年3月)	第156集	郡山遺跡-第65次発掘調査報告書-(平成4年3月)
第115集	下ノ内浦遺跡-みやぎ生活協同組合店舗建設に伴う発掘調査報告書-(昭和63年3月)	第157集	杉土手・北前遺跡-杉土手(2次)・北前(4次)発掘調査報告書-(平成4年3月)
第116集	燕沢遺跡(昭和63年3月)	第158集	町田遺跡発掘調査報告書(平成4年3月)
第117集	富沢遺跡第33次発掘調査報告書(昭和63年3月)	第159集	神柵遺跡発掘調査報告書(平成4年3月)
第118集	富沢遺跡第34次発掘調査報告書(昭和63年3月)	第160集	富沢遺跡-第30次調査報告書Ⅱ(旧石器編)-(平成4年3月)
第119集	泉崎浦遺跡発掘調査報告書(昭和63年3月)	第161集	郡山遺跡ⅩⅡ-平成3年発掘調査概報-(平成4年3月)
第120集	谷津A,B遺跡芦見遺跡-錦ヶ丘ニュータウン関連遺跡調査報告書(昭和63年3月)	第162集	仙台平野の遺跡群ⅩⅠ-平成3年度発掘調査報告書-(平成4年3月)

番号	書名	番号	書名
第163集	富沢・泉崎浦・山口遺跡(4)、下ノ内遺跡-富沢遺跡第70～75・77・79次、下ノ内遺跡第5次発掘調査報告書-(平成3年3月)	第205集	野川遺跡発掘調査報告書(平成8年3月)
第164集	南小泉遺跡-第21次発掘調査報告書-(平成4年3月)	第206集	中田南遺跡-第2次発掘調査報告書-(平成7年7月)
第165集	土手内-土手内遺跡・土手内窯跡・土手内横穴B地点発掘調査報告書-(平成4年3月)	第207集	下ノ内浦・山口遺跡-仙台市高速鉄道関係遺跡発掘調査報告書V-(平成8年3月)
第166集	沼遺跡-仙台市上谷刈土地区画整理事業関係調査報告書-(平成4年3月)	第208集	富沢・泉崎浦・山口遺跡(9)-第92～94次発掘調査報告書-(平成8年3月)
第167集	年報13(平成4年3月)	第209集	笹森城跡発掘調査報告書(平成8年3月)
第168集	大蓮寺窯跡-第2・3次発掘調査報告書-(平成5年3月)	第210集	郡山遺跡XVI-平成7年度発掘調査概報-平成8年3月
第169集	郡山遺跡XIII-平成4年度発掘調査概報-(平成5年3月)	第211集	仙台平野の遺跡群XV-平成7年度発掘調査報告書-(平成8年3月)
第170集	仙台平野の遺跡群XII-平成4年度発掘調査報告書-(平成5年3月)	第212集	年報17(平成8年3月)
第171集	富沢・泉崎浦・山口遺跡(5)-第78・80～85次発掘調査報告書-(平成5年3月)	第213集	中在家南遺跡他発掘調査報告書(平成8年12月)
第172集	富沢・泉崎浦・山口遺跡(6)-第57・58・63・66・69次発掘調査報告書-(平成5年3月)	第214集	養種園遺跡発掘調査報告書(平成9年3月)
第173集	下ノ内浦遺跡第4次発掘調査報告書(平成5年3月)	第215集	郡山遺跡XVII-平成8年度発掘調査概報-(平成9年3月)
第174集	安久東遺跡第3次発掘調査報告書(平成5年3月)	第216集	仙台平野の遺跡群XVI-平成8年度発掘調査報告書-(平成9年3月)
第175集	洞雲寺遺跡発掘調査報告書(平成5年3月)	第217集	相ノ原遺跡・大貝中遺跡・川添東遺跡発掘調査報告書(平成9年3月)
第176集	年報14(平成5年3月)	第218集	四郎丸館跡-第2次発掘調査報告書-(平成9年3月)
第177集	郡山遺跡-第94次発掘調査報告書-(平成6年3月)	第219集	安久遺跡-第3次発掘調査報告書-(平成9年3月)
第178集	郡山遺跡XIV-平成5年度発掘調査概報-(平成6年3月)	第220集	富沢・泉崎浦・山口遺跡(10)-第86次発掘調査報告書-(平成9年3月)
第179集	仙台平野の遺跡XIII-平成5年度発掘調査報告書-(平成6年3月)	第221集	富沢・泉崎浦・山口遺跡(11)-第95～99・101次発掘調査報告書-(平成9年3月)
第180集	大倉地区遺跡範囲確認調査報告書(平成6年3月)	第222集	郡山遺跡-第112次発掘調査報告書-(平成9年3月)
第181集	北原街道B遺跡発掘調査報告書(平成6年3月)	第223集	高屋敷遺跡ほか発掘調査報告書(平成9年3月)
第182集	中田南遺跡発掘調査報告書(平成6年3月)	第224集	年報18(平成9年3月)
第183集	仙台東郊糸里跡発掘調査報告書(平成6年3月)	第225集	南小泉遺跡-第26次発掘調査報告書-(平成10年3月)
第184集	富沢・泉崎浦・山口遺跡(7)-富沢遺跡第87次発掘調査報告書-(平成6年3月)	第226集	南小泉遺跡-第30・31次発掘調査報告書-(平成10年3月)
第185集	今泉遺跡-第3次発掘調査報告書-(平成6年3月)	第227集	郡山遺跡-平成9年度発掘調査概報-(平成10年3月)
第186集	昭和北遺跡発掘調査報告書(平成6年3月)	第228集	仙台平野の遺跡群XVII-平成9年度発掘調査報告書-(平成10年3月)
第187集	愛宕山横穴墓群-第3次発掘調査報告書-(平成6年3月)	第229集	原遺跡-第1・2次発掘調査報告書-(平成10年3月)
第188集	元袋遺跡-第2次発掘調査報告書-(平成6年3月)	第230集	柳生台畑遺跡-(仮称)柳生小学校建設関係発掘調査報告書-(平成10年3月)
第189集	年報15(平成6年3月)	第231集	富沢・泉崎浦・山口遺跡(12)-第102・103・106次発掘調査報告書-(平成10年3月)
第190集	高柳遺跡調査報告書(平成7年3月)	第232集	神明社窯跡ほか発掘調査報告書(平成10年3月)
第191集	下飯田遺跡発掘調査報告書(平成7年3月)	第233集	年報19(平成10年5月)
第192集	南小泉遺跡-第22・23次発掘調査報告書-(平成6年10月)	第234集	郡山遺跡XIX-平成10年度発掘調査概報-(平成11年3月)
第193集	伊古田遺跡-仙台市高速鉄道関係遺跡発掘調査報告書III-(平成7年3月)	第235集	富沢遺跡-第104次発掘調査報告書-(平成11年3月)
第194集	郡山遺跡XV-平成6年度発掘調査概報-(平成7年3月)	第236集	後河原遺跡-第3・4次発掘調査報告書-(平成11年3月)
第195集	仙台平野の遺跡群XIV-平成6年度発掘調査報告書-(平成7年3月)	第237集	船渡前遺跡発掘調査報告書(平成11年3月)
第196集	南小泉遺跡-第25次発掘調査報告書-(平成7年3月)	第238集	陸奥国分尼寺跡ほか発掘調査報告書(平成11年3月)
第197集	北目城跡発掘調査報告書(平成7年3月)	第239集	年報20(平成11年5月)
第198集	上ノ原山遺跡-国道286号線(茂庭工区)改良工事関係発掘調査報告書-(平成7年3月)	第240集	原遺跡-第3次発掘調査報告書-(平成11年12月)
第199集	六反田遺跡-仙台市高速鉄道関係遺跡発掘調査報告書IV-(平成7年3月)	第241集	沼向遺跡第1・2・3次発掘調査報告書-宮城県仙台背後地土地区画整理事業地内遺跡群I-(平成12年3月)
第200集	四郎丸遺跡発掘調査報告書(平成7年3月)	第242集	高田B遺跡発掘調査報告書(平成12年3月)
第201集	今泉遺跡-第4次発掘調査報告書-(平成7年3月)	第243集	大野田古墳群・王ノ塚遺跡・六反田遺跡-仙台市富沢駅周辺区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書I-(平成12年3月)
第202集	下ノ内浦遺跡-第5次発掘調査報告書-(平成7年3月)	第244集	郡山遺跡XX-平成11年度発掘調査概報-(平成12年3月)
第203集	富沢・泉崎浦・山口遺跡(8)-第88・89次発掘調査報告書-(平成7年3月)	第245集	鍛冶屋敷A・鍛冶屋敷前遺跡-市道富田富沢線関連遺跡発掘調査報告書-(平成12年3月)
第204集	年報16(平成7年3月)	第246集	欠ノ上II遺跡発掘調査報告書(平成12年3月)

Ⅵ. 仙台市文化財調査報告書刊行目録

番号	書名	番号	書名
第247集	五本松窯跡ほか発掘調査報告書（平成12年3月）	第289集	仙台市高速鉄道東西線関係遺跡発掘調査(1)概要報告書(平成17年1月)
第248集	文化財年報21（平成12年5月）	第290集	大野田古墳群－第8次発掘調査報告書（平成17年2月）
第249集	王ノ壇遺跡－都市計画道路「川内・柳生線」関連遺跡－発掘調査報告書Ⅰ（平成12年9月）	第291集	大野田古墳群－第9次発掘調査報告書（平成17年2月）
第250集	郡山遺跡21－郡山遺跡・仙台平野の遺跡群 平成12年度発掘調査概報－（平成13年3月）	第292集	若林城跡－第4次発掘調査報告書（平成17年2月）
第251集	郡山遺跡－第124次発掘調査報告書－（平成13年3月）	第293集	南小泉遺跡－第43次発掘調査報告書－（平成17年3月）
第252集	大野田遺跡－第2次発掘調査報告書－（平成13年3月）	第294集	旧石切町の石工用具調査報告書（平成17年3月）
第253集	八木山緑町遺跡ほか発掘調査報告書（平成13年3月）	第295集	文化財年報26（平成17年9月）
第254集	文化財年報22（平成13年6月）	第296集	郡山遺跡26－郡山遺跡・仙台平野の遺跡群 平成17年度発掘調査概報－
第255集	中在家南遺跡(第3・4次)Ⅲ押口遺跡(第3次)発掘調査報告書(平成14年3月)	第297集	仙台北城跡6－平成17年度 調査報告書（平成18年3月）
第256集	若林城Ⅲ－第3次発掘調査報告書－（平成14年3月）	第298集	仙台北城本丸跡1次調査第2分冊 遺構編（平成18年3月）
第257集	原遺跡－第4次発掘調査報告書－（平成14年3月）	第299集	仙台北城跡地震災害石垣復旧事業及び史跡整備事業報告書 中門・清水門跡（平成18年3月）
第258集	郡山遺跡22－平成13年度発掘調査概報－（平成14年3月）	第300集	仙台北城跡・登城路1次調査（平成18年3月）
第259集	仙台北城跡1－平成13年度発掘調査概報－（平成14年3月）	第301集	前田館他発掘調査報告書（平成18年3月）
第260集	今市遺跡発掘調査報告書（平成14年3月）	第302集	仙台市高速鉄道東西線関係遺跡発掘調査(2)概要報告書(平成18年3月)
第261集	小鶴城跡ほか発掘調査報告書（平成14年3月）	第303集	文化財年報27（平成18年9月）
第262集	文化財年報23（平成14年7月）	第304集	天賞酒造に係る文化財調査報告書（平成18年11月）
第263集	郡山遺跡23－平成14年度発掘調査概報－（平成15年3月）	第305集	大崎八幡宮の松焚祭と裸参り調査報告書（平成19年6月）
第264集	仙台北城跡2－平成14年度発掘調査概報－（平成15年3月）	第306集	若林城跡－第6次・第7次発掘調査報告書（平成19年3月）
第265集	山田上ノ台遺跡－第3次発掘調査報告書－（平成15年3月）	第307集	郡山遺跡27－平成18年度発掘調査概報－（平成19年3月）
第266集	国分寺東遺跡他発掘調査報告書（平成15年3月）	第308集	山田上ノ台遺跡概報－第5次発掘調査平成18年度概報－（平成19年3月）
第267集	文化財年報24（平成15年7月）	第309集	仙台北城跡7－平成18年度 調査報告書（平成19年3月）
第268集	王ノ壇遺跡－第5次発掘調査報告書－（平成15年7月）	第310集	松森城跡ほか発掘調査報告書（平成19年3月）
第269集	郡山遺跡24－平成15年度発掘調査概報－（平成16年3月）	第311集	大念寺山横穴墓群発掘調査報告書（平成19年3月）
第270集	仙台北城跡3－平成15年度 調査報告書－（平成16年3月）	第312集	川内A遺跡発掘調査報告書（平成19年3月）
第271集	仙台北城跡4－平成15年度 調査報告書－（平成16年3月）	第313集	富沢遺跡第138次発掘調査報告書（平成19年3月）
第272集	元袋遺跡（平成16年3月）	第314集	北目城跡第6次発掘調査報告書（平成19年3月）
第273集	富沢遺跡126次（平成16年3月）	第315集	長町駅東遺跡4区発掘調査報告書（平成19年3月）
第274集	保香院前遺跡他（平成16年3月）	第316集	仙台市高速鉄道東西線関係遺跡発掘調査(3)概要報告書(平成19年3月)
第275集	仙台北城本丸跡1次調査第4分冊石垣図面編（平成16年3月）	第317集	文化財年報28（平成19年11月）
第276集	富沢遺跡－第131次発掘調査報告書－（平成16年3月）	第318集	桜ヶ岡公園遺跡第2次発掘調査報告書（平成19年12月）
第277集	壇腰遺跡発掘調査報告書（平成16年3月）	第319集	大野田古墳群第13次発掘調査報告書（平成20年2月）
第278集	上野遺跡－平成15年度確認調査・第5次発掘調査報告書－（平成16年3月）	第320集	下ノ内遺跡－第8次発掘調査報告書－（平成20年3月）
第279集	文化財年報25（平成17年9月）	第321集	富沢遺跡－第140次発掘調査報告書－（平成20年3月）
第280集	鴻ノ巣遺跡－第7次発掘調査報告書－（平成16年12月）	第322集	富沢遺跡－第141次発掘調査報告書－（平成20年3月）
第281集	洞ノ口遺跡－第1次・2次・4次・5次・7次・10次発掘調査報告書－（平成17年3月）	第323集	若林城跡－第5次発掘調査報告書－（平成20年3月）
第282集	仙台北城本丸跡1次調査第3分冊出土遺物編（平成17年3月）	第324集	長町駅東遺跡－第1次・2次発掘調査報告書－（平成20年3月）
第283集	郡山遺跡発掘調査報告書－総括編－（平成17年3月）	第325集	南小泉遺跡－第28次発掘調査報告書－（平成20年3月）
第284集	郡山遺跡25－平成16年度発掘調査概報－（平成17年3月）	第326集	南小泉遺跡ほか発掘調査報告書（平成20年3月）
第285集	仙台北城跡5－平成16年度 調査報告書－（平成17年3月）	第327集	郡山28－平成19年度発掘調査概報－（平成20年3月）
第286集	陸奥国分尼寺跡－第10次発掘調査報告書－（平成17年3月）	第328集	仙台平野の遺跡群XⅧ 平成19年度発掘調査報告書(平成20年3月)
第287集	山田本町遺跡他発掘調査報告書（平成17年3月）	第329集	山田上ノ台遺跡－第5次発掘調査平成19年度概報－（平成20年3月）
第288集	郡山遺跡－第162次1区・第164次発掘調査報告書(平成17年3月)	第330集	仙台北城跡8－平成19年度 調査報告書－（平成20年3月）

番号	書名	番号	書名
第331集	長町駅東遺跡－第8次発掘調査報告書－（平成20年3月）	第373集	宮城県仙台市郡山遺跡30－平成21年度発掘調査概報 郡山遺跡・大野田官衙遺跡－（平成22年3月）
第332集	柳生の手漉き和紙技術報告書（平成20年3月）	第374集	仙台城跡10－平成21年度 調査報告書 仙台城本丸大広間跡調査成果の総括－（平成22年3月）
第333集	旧石垣家住宅に係る解体・復元報告書（平成20年3月）	第375集	仙台旧城下町に所在する民俗文化財調査報告書①総括編（平成22年3月）
第334集	文化財年報29（平成20年9月）		仙台旧城下町に所在する民俗文化財調査報告書②堤焼（平成22年3月）
第335集	桜ヶ岡公園遺跡－第3次発掘調査報告書－（平成20年12月）		仙台旧城下町に所在する民俗文化財調査報告書③仙台張子・鍛冶屋（平成22年3月）
第336集	茂ヶ崎城跡－第2次発掘調査報告書－（平成21年2月）		仙台旧城下町に所在する民俗文化財調査報告書④仙台釣竿・仙台御筆（平成22年3月）
第337集	沼向遺跡－第35次発掘調査報告書－（平成21年2月）		仙台旧城下町に所在する民俗文化財調査報告書⑤仙台の正月飾り（平成22年3月）
第338集	三神峯遺跡－第4次発掘調査報告書－（平成21年3月）		仙台旧城下町に所在する民俗文化財調査報告書⑥仙台味噌（平成22年3月）
第339集	大野田古墳群－第14次発掘調査報告書－（平成21年3月）		仙台旧城下町に所在する民俗文化財調査報告書⑦仙台の七夕飾り・仙台の竹細工（平成22年3月）
第340集	長町駅東遺跡－第3次発掘調査報告書－（平成21年3月）		仙台旧城下町に所在する民俗文化財調査報告書⑧仙台の木綿染め（平成22年3月）
第341集	元袋遺跡－第6次発掘調査報告書－（平成21年3月）		仙台旧城下町に所在する民俗文化財調査報告書⑨仙台筆筒・仙台の曲輪（平成22年3月）
第342集	仙台城跡－仙台市高速鉄道東西線関係遺跡発掘調査報告書Ⅱ－（平成21年3月）		第376集
第343集	上野遺跡－第8次発掘調査報告書－（平成21年3月）	第377集	若林城跡－第8次・第9次発掘調査報告書－（平成22年10月）
第344集	養徳園遺跡第2次・保春院前遺跡－都市計画道路「南小泉茂庭線」発掘調査報告書Ⅱ－（平成21年3月）	第378集	桜ヶ岡公園遺跡－第4次発掘調査報告書－（平成22年11月）
第345集	山口遺跡他発掘調査報告書（平成21年3月）	第379集	三神峯－三神峯遺跡第4・5次発掘調査 三神峯古墳群確認調査報告書－（平成22年12月）
第346集	仙台平野の遺跡群Ⅸ－平成20年度発掘調査報告書－（平成21年3月）	第380集	上野遺跡－第10次発掘調査報告書－（平成23年1月）
第347集	宮城県仙台市郡山遺跡29－平成20年度発掘調査概報－（平成21年3月）	第381集	富沢遺跡－第144次発掘調査報告書－（平成23年3月）
第348集	仙台城跡9－平成20年度 調査報告書－（平成21年3月）	第382集	富沢遺跡－第145次発掘調査報告書－（平成23年3月）
第349集	仙台城跡 本丸1次調査報告書－石垣修復工事に伴う発掘調査報告書－ 第1分冊 本文編（平成21年3月）	第383集	若林城跡－第11次発掘調査報告書－（平成23年3月）
第350集	仙台城跡－追廻地区遺構確認調査報告書－（平成21年3月）	第384集	桜ヶ岡公園遺跡－仙台市高速鉄道東西線関係遺跡発掘調査報告書Ⅳ－（平成23年3月）
第351集	仙台政府倉庫建造物調査報告書（平成21年3月）	第385集	川内B遺跡－仙台市高速鉄道東西線関係遺跡発掘調査報告書Ⅴ－（平成23年3月）
第352集	生出森八幡神社の祭礼調査報告書（平成21年3月）	第386集	仙台城跡－仙台市高速鉄道東西線関係遺跡発掘調査報告書Ⅵ－（平成23年3月）
第353集	文化財年報30（平成21年9月）	第387集	薬師堂東遺跡－仙台市高速鉄道東西線関係遺跡発掘調査報告書Ⅶ－（平成23年3月）
第354集	仙台城跡登城路第2次調査－平成21年度 調査報告書－（平成21年9月）	第388集	西台畑遺跡第3次調査－仙台市あすと長町土地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書Ⅶ－（平成23年3月）
第355集	大野田古墳群－第17次発掘調査報告書－（平成21年12月）	第389集	郡山遺跡第19次調査－仙台市あすと長町土地区画整理事業に關連する都市計画道路長町八木山線発掘調査報告書（平成23年11月）
第356集	仙台城跡－北方武家屋敷第2次発掘調査報告書－（平成22年3月）	第390集	下ノ内遺跡・春日社古墳・大野田官衙遺跡ほか－仙台市富沢駅周辺土地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書Ⅱ（平成22年12月）
第357集	貞山堀調査報告書－七北田川築堤護岸工事に伴う測量調査報告書－（平成22年2月）	第391集	郡山遺跡第200次調査－仙台市あすと長町21街区・店舗建設に伴う発掘調査報告書－（平成23年3月）
第358集	郡山遺跡第144次調査－仙台市あすと長町土地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書Ⅳ－（平成22年3月）	第392集	仙台平野の遺跡群21－平成22年度発掘調査報告書－（平成23年3月）
第359集	西台畑遺跡第1・2次調査－仙台市あすと長町土地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書Ⅴ－（平成22年3月）	第393集	法領塚古墳他 発掘調査報告書（平成23年3月）
第360集	沼向遺跡第4～34次調査－宮城県仙台港背後地土地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書Ⅲ－（平成22年3月）	第394集	宮城県仙台市郡山遺跡31－平成22年度発掘調査概報 郡山遺跡・大野田官衙遺跡・法領塚古墳－（平成23年3月）
第361集	中野高柳遺跡第1～5次調査－宮城県仙台港背後地土地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書Ⅳ－（平成22年3月）	第395集	仙台城跡11－平成22年度 調査報告書－（平成23年3月）
第362集	南小泉遺跡－第61次発掘調査報告書－（平成22年3月）	第396集	文化財年報32 平成22年度（平成23年9月）
第363集	杓形遺跡－仙台市高速鉄道東西線関係遺跡発掘調査報告書Ⅲ－（平成22年3月）	第397集	杓形遺跡第2・3次調査－仙台市荒井東土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書－（平成24年2月）
第364集	大野田古墳群－第18次発掘調査報告書－（平成22年3月）	第398集	六反田遺跡－第9次発掘調査報告書－（平成24年3月）
第365集	上野遺跡第6・7次発掘調査－都市計画道路「富沢山田線」関連遺跡発掘調査報告書－（平成22年3月）	第399集	長町駅東遺跡第12次調査－あすと長町28街区・店舗建築工事に伴う発掘調査報告書－（平成24年3月）
第366集	与兵衛沼澤跡－都市計画道路「川内・南小泉線」関係遺跡発掘調査報告書－（平成22年3月）	第400集	鴻ノ巣遺跡第9次発掘調査報告書（平成24年3月）
第367集	下ノ内浦遺跡－第7次発掘調査報告書－（平成22年3月）	第401集	川内B遺跡ほか－仙台市高速鉄道東西線関係遺跡発掘調査報告書Ⅶ－（平成24年3月）
第368集	沼向遺跡第36次調査－宮城県仙台港背後地土地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書Ⅴ－（平成22年3月）	第402集	仙台城跡ほか－仙台市高速鉄道東西線関係遺跡発掘調査報告書Ⅷ－（平成24年3月）
第369集	一本杉遺跡第2次調査（平成22年3月）	第403集	桜ヶ岡公園遺跡Ⅱ－仙台市高速鉄道東西線関係遺跡発掘調査報告書Ⅸ－（平成24年3月）
第370集	若宮前遺跡（平成22年3月）	第404集	仙台平野の遺跡群22－平成23年度発掘調査報告書－（平成24年3月）
第371集	仙台平野の遺跡群Ⅹ－平成21年度発掘調査報告書－（平成22年3月）	第405集	郡山遺跡他 発掘調査報告書（平成24年3月）
第372集	上野遺跡他発掘調査報告書（平成22年3月）	第406集	宮城県仙台市郡山遺跡32－平成23年度発掘調査概報 郡山遺跡・与兵衛沼澤跡－（平成24年3月）

Ⅵ. 仙台市文化財調査報告書刊行目録

番号	書名	番号	書名
第407集	文化財年報33 平成23年度(平成24年9月)	第449集	仙台平野の遺跡群26 平成27年度個人住宅他国庫補助対象事業に伴う発掘調査報告書(平成28年3月)
第408集	南小泉遺跡第62次発掘調査報告書(平成24年9月)	第450集	宮城県仙台市郡山遺跡36-平成27年度発掘調査概報-(平成28年3月)
第409集	西台畑遺跡第8次調査-仙台市あすと長町26街区・高齢者福祉施設建設に伴う発掘調査報告書-(平成25年1月)	第451集	仙台北城跡東日本大震災復旧事業報告書(平成28年9月)
第410集	富沢遺跡第146次発掘調査報告書(平成25年3月)	第452集	文化財年報37 平成27年度(平成28年9月)
第411集	西台畑遺跡第4-5-7次調査-仙台市あすと長町土地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書Ⅶ-(平成25年3月)	第453集	富沢遺跡 第149次発掘調査報告書(平成29年3月)
第412集	郡山遺跡第167・180・196次調査-仙台市あすと長町土地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書Ⅷ-(平成25年3月)	第454集	六反田遺跡 第14次発掘調査報告書(平成29年3月)
第413集	伊古田遺跡・大野田古墳群・下ノ内遺跡-仙台市富沢駅周辺土地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書Ⅸ-(平成25年3月)	第455集	元袋遺跡・六反田遺跡・大野田古墳群ほか-仙台市富沢駅周辺土地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書Ⅹ-(平成29年3月)
第414集	大野田遺跡・元袋遺跡・伊古田遺跡ほか-仙台市富沢駅周辺土地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書Ⅺ-(平成25年3月)	第456集	元袋遺跡・六反田遺跡・伊古田遺跡ほか-仙台市富沢駅周辺土地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書Ⅺ-(平成29年3月)
第415集	仙台平野の遺跡群23-平成24年度個人住宅他国庫補助対象事業に伴う発掘調査報告書-(平成25年3月)	第457集	仙台東区復興旧開運区画整理事業関係遺跡発掘調査報告Ⅰ-平成26・27年度発掘調査報告書-(平成29年2月)
第416集	仙台市震災復興関係遺跡発掘調査報告Ⅰ-平成23年度・平成24年度震災復興民間文化財発掘調査助成事業に伴う発掘調査報告書-(平成25年3月)	第458集	杵形遺跡他 発掘調査報告書(平成29年3月)
第417集	宮城県仙台市郡山遺跡33-平成24年度発掘調査概報 郡山遺跡・与兵衛沼築跡(平成25年3月)	第459集	仙台平野の遺跡群27 平成28年度個人住宅他国庫補助対象事業に伴う発掘調査報告書(平成29年3月)
第418集	文化財年報34 平成24年度(平成25年9月)	第460集	宮城県仙台市郡山遺跡37-平成28年度発掘調査概報-(平成29年3月)
第419集	南小泉遺跡 第67次発掘調査報告書(平成26年2月)	第461集	仙台北城跡12-平成28年度 調査報告書-(平成29年3月)
第420集	南小泉遺跡 第68次発掘調査報告書(平成26年3月)	第462集	仙台消防階子乗り民俗文化財調査報告書(平成29年3月)
第421集	長町駅東遺跡第5-6-7-9次調査-仙台市あすと長町土地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書Ⅻ-(平成26年3月)	第463集	文化財年報38 平成28年度(平成29年9月)
第422集	長町駅東遺跡第10-11次調査-仙台市あすと長町土地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書Ⅼ-(平成26年3月)	第464集	貞山堀・藩生御蔵跡ほか-平成27・28年度藩生北部地区被災市街地土地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書-(平成30年3月)
第423集	長町駅東遺跡第13次調査-店舗付駐車場建築に伴う発掘調査報告書-(平成26年3月)	第465集	鍛冶屋敷前遺跡-第3次発掘調査報告書-(平成30年3月)
第424集	大野田遺跡第11次調査-都市計画道路「川内・柳生線」関係遺跡-発掘調査報告書Ⅲ(平成26年3月)	第466集	鍛冶屋敷A遺跡・富沢館跡・川前遺跡ほか-仙台市富沢駅西土地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書-(平成30年3月)
第425集	荒井南遺跡第1次調査-仙台市荒井南土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書-(平成26年3月)	第467集	西台畑遺跡第13次調査-仙台市あすと長町26街区・集合住宅建設に伴う発掘調査報告書-(平成30年3月)
第426集	富沢遺跡 第147次発掘調査報告書(平成26年3月)	第468集	洞ノ口遺跡ほか 発掘調査報告書(平成30年3月)
第427集	川内C遺跡ほか 発掘調査報告書(平成26年3月)	第469集	仙台平野の遺跡群28 平成29年度個人住宅他国庫補助対象事業に伴う発掘調査報告書(平成30年3月)
第428集	仙台平野の遺跡群24 平成25年度個人住宅他国庫補助対象事業に伴う発掘調査報告書(平成26年3月)	第470集	宮城県仙台市郡山遺跡38-平成29年度発掘調査概報-(平成30年3月)
第429集	宮城県仙台市 郡山遺跡34-平成25年度発掘調査概報-(平成26年3月)	第471集	仙台北城跡13-平成29年度 調査報告書-(平成30年3月)
第430集	宮城県仙台市 国史跡 陸奥国分寺跡-昭和46~50・53・54年度発掘調査報告-(平成26年3月)	第472集	朴沢学園裁縫教育資料調査報告書(平成30年3月)
第431集	「秋保の田植踊」の歴史と現在-秋保の田植踊民俗文化財調査-(平成26年3月)	第473集	文化財年報39 平成29年度(平成30年9月)
第432集	文化財年報35 平成25年度(平成26年9月)	第474集	若林城跡-第10次・12~15次発掘調査報告書-(平成31年3月)
第433集	西台畑遺跡第12次調査-仙台市あすと長町26街区・商業施設建設に伴う発掘調査報告書-(平成27年3月)	第475集	仙台東区復興旧開運区画整理事業関係遺跡発掘調査報告Ⅱ-平成28・29・30年度発掘調査報告書-(平成31年3月)
第434集	中在家南遺跡第6次調査ほか-仙台市荒井西土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書-(平成27年3月)	第476集	今市遺跡ほか 発掘調査報告書(平成31年3月)
第435集	杵形遺跡第4次調査-仙台市荒井東土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書-(平成27年3月)	第477集	仙台平野の遺跡群29 平成30年度個人住宅他国庫補助対象事業に伴う発掘調査報告書(平成31年3月)
第436集	山の寺廃寺ほか 発掘調査報告書(平成27年3月)	第478集	宮城県仙台市 郡山遺跡39-平成30年度発掘調査概報-(平成31年3月)
第437集	仙台平野の遺跡群25 平成26年度個人住宅他国庫補助対象事業に伴う発掘調査報告書(平成27年3月)	第479集	仙台北城跡14-平成30年度 調査報告書-(平成31年3月)
第438集	宮城県仙台市 郡山遺跡35-平成26年度発掘調査概報-(平成27年3月)	第480集	文化財年報40 平成30年度(令和元年9月)
第439集	和田織部館跡-平成26年度藩生北部地区被災市街地土地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書-(平成27年3月)	第481集	京ノ中遺跡第2次調査-医療施設建設工事に伴う発掘調査報告書-(令和2年3月)
第440集	文化財年報36 平成26年度(平成27年9月)	第482集	六反田遺跡ほか 発掘調査報告書(令和2年3月)
第441集	西台畑遺跡第9次調査-あすと長町17街区・マンション建設に伴う発掘調査報告書-(平成28年3月)	第483集	仙台平野の遺跡群30 令和元年度 個人住宅他国庫補助対象事業に伴う発掘調査報告書(令和2年3月)
第442集	郡山遺跡第243次・西台畑遺跡第11次調査-あすと長町17街区・商業施設建設に伴う発掘調査報告書-(平成28年3月)	第484集	宮城県仙台市 郡山遺跡40-令和元年度発掘調査概報-(令和2年3月)
第443集	薬師堂東遺跡Ⅱ-仙台市高速鉄道東西線関係遺跡発掘調査報告書ⅩⅠ-	第485集	仙台北城跡15-令和元年度 調査報告書・造酒屋敷跡総括報告書-(令和2年3月)
第444集	仙台北城跡-(仮称)公園センター建設に係る追廻地区第4次~第6次発掘調査報告書-(平成28年3月)	第486集	文化財年報41 令和元年度(令和2年9月)
第445集	王ノ塚遺跡第6次発掘調査-都市計画道路「郡山折立線」関係遺跡発掘調査報告書-(平成28年3月)	第487集	桜ヶ岡公園遺跡-第5次発掘調査報告書-(令和3年2月)
第446集	荒井南遺跡他発掘調査報告書(平成28年3月)	第488集	桜ヶ岡公園遺跡-第6次発掘調査報告書-(令和3年2月)
第447集	燕沢遺跡-第14次発掘調査報告書-(平成28年3月)	第489集	仙台市震災復興関係遺跡発掘調査報告Ⅲ-平成27~令和2年度 震災復興民間文化財発掘調査助成事業に伴う発掘調査報告書-(令和3年3月)
第448集	仙台市震災復興関係遺跡発掘調査報告Ⅱ-平成24年度~26年度震災復興民間文化財発掘調査助成事業に伴う発掘調査報告書-(平成28年3月)	第490集	北目城跡ほか 発掘調査報告書(令和3年3月)

番 号	書 名
第491集	仙台平野の遺跡群31 令和2年度 個人住宅他国庫補助対象事業に伴う発掘調査報告書(令和3年3月)
第492集	宮城県仙台市 郡山遺跡41 - 令和2年度発掘調査概報 - (令和3年3月)
第493集	仙台北城跡16 - 令和2年度 調査報告書 - (令和3年3月)
第494集	文化財年報42 令和2年度(令和3年9月)
第495集	仙台市指定天然記念物 泉ヶ岳のミズバショウほか湿生植物群生地モニタリング調査報告書 - 平成24年度～令和2年度調査 - (令和4年3月)
第496集	日向遺跡 第1次発掘調査報告書(令和4年3月)
第497集	仙台平野の遺跡群32 令和3年度 個人住宅他国庫補助対象事業に伴う発掘調査報告書(令和4年4月)
第498集	穴田東窯跡ほか 発掘調査報告書(令和4年4月)
第499集	宮城県仙台市 郡山遺跡42 - 令和3年度発掘調査概報 郡山遺跡・陸奥国分寺跡 - (令和4年3月)
第500集	仙台北城跡17 - 令和3年度 調査報告書 - (令和4年4月)
第501集	文化財年報43 令和3年度(令和4年9月)
第502集	高江遺跡第1次発掘調査報告書-仙台貨物ターミナル駅移転計画事業に伴う発掘調査報告書-(令和4年12月)
第503集	大野田古墳群第25次発掘調査報告書-集合住宅建設工事に伴う発掘調査報告書-(令和5年3月)
第504集	富沢遺跡第157次発掘調査報告書(令和5年3月)
第505集	郡山遺跡ほか発掘調査報告書(令和5年3月)
第506集	仙台平野の遺跡群33(令和5年3月)
第507集	宮城県仙台市 郡山遺跡43 - 令和4年度発掘調査概報 郡山遺跡・陸奥国分寺跡 - (令和5年3月)
第508集	仙台北城 青葉山公園整備事業に係る追跡地区 埋没堀跡(第7次)・広瀬川護岸石垣天端(第8次)発掘調査報告書(令和5年3月)
第509集	文化財年報44 令和4年度(令和5年9月)

文化財課職員録（令和4年4月1日現在）

課長 都丸 晃彦
主査(調整担当) 長島 栄一

管理係

係長 長谷川隆二
総括主任 黒須 法子
〃 大上 雅子
主任 佐々木 徹
〃 川后のぞみ
主事 沼田 愛

整備活用係

係長 工藤慶次郎
主査 菅原 翔太
〃 小浦 真彦
主任 堀越 研
〃 勝又 康
主事 庄子 裕美
〃 五十嵐 愛
〃 妹尾 一樹

調査調整係

係長 及川 謙作
主査 近藤 勇亮
主任 堀江 洋介
主事 澤目 雄大
〃 狩野 佑介
〃 相川ひとみ
〃 須貝 慎吾
〃 早川 太陽
〃 吉田 大
〃 山口 沙織
専門員 荒井 格

調査指導係

係長 関根 章義
主事 高橋 純平
〃 三浦 一樹
〃 柳澤 楓
専門員 工藤信一郎
〃 平間 亮輔

仙台城史跡調査室

室長 鈴木 隆
主査 沼倉 幸司
主任 大江美智代
主事 佐藤 恒介
〃 木村 恒



仙台市文化財調査報告書第509集

文化財年報 44

令和4年度

令和5年9月

編集・発行 仙台市教育委員会

仙台市青葉区上杉1丁目5-12
仙台市教育委員会文化財課

印刷 社会福祉法人共生福祉会 萩の郷福祉工場

仙台市太白区鉤取御堂平38
TEL 022-244-0117

